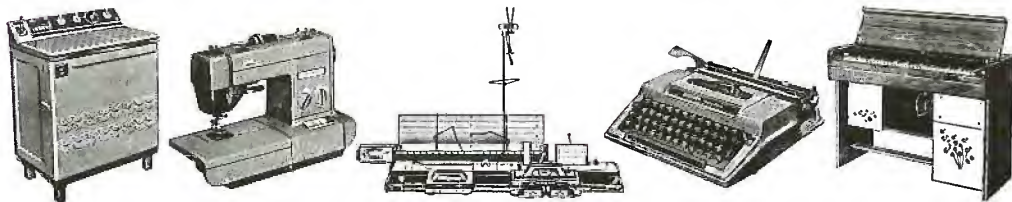


練習が技術をつちかい
技術が信頼を支える

きょうの反省を、あすの練習に、試合に結びつける……スポーツマンにとって、大切な心がまえです。常により高度な技術をめざしてチャレンジする——それはブラザーが目ざしているものと一致します。技術がチームメートの信頼を支えるように、お客さまの信頼に応えるのは、高度な技術に支えられた品質以外にないのですから——。

BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社



昭和53年度 第一回全国理事会報告

五月二十八日（日）午後一時より、日本体育協会内会議室に於いて各委員会理事二十一名出席（現委員三十二名）のもと、53年度事業計画の細案等について各委員会より説明、それに対する話し合いが行なわれた。以下、協議内容を紹介。

昭和53年度事業の細案について

○総務委員会（大野総務委員長）

財団基金募金要綱（略）について、三ヵ年を目標として、五十六年四月一日には法人を発足したい計画としては団体、個人（日本協会の組織、役職者）を主体として三千万を予定し、他の賛助者等より三千万を集める予定である――【遠藤、藤田、柳井理事より現在における連盟の実情、地方協会の格差などについて説明がなされ、この案ではとても無理ではないかとの主張があった。】　それに対し荒川理事長、大野総務委員長より――目標は高いところにおかなければ仕事は進まない。国内的にも、国際的にも日本ハンドボール協会としての立場を確立するための法人化は必要であり、法人化は即ち皆様個々の努力の集約でもある。そして、その姿勢は是非とも欲しいものである。規模の大小の協会を一律に扱うのは無理であることは承知しているが、各地方協会が日本協会の構成員であるとの考えのもとに、そのことを地方協会が姿勢として示しておかなければ、外部に協賛も求められない―と説明。

【これを代議員会に提案したいと理事長より発言がなされたが、このままでは困ると遠藤、藤田両理事が反対。議事進行上、募金の種類別に検討することになった。】

(イ)団体について

山田稔理事――どの県も同じに考えている結果の案で、県によっては無理であるかも知れないが、逆に考えれば日本協会の構成を立て直すことも必要ではないだろうかこの点各協会が反省して行くべきではないか。

荒川理事長――全都道府県参加という日本協会の構成を崩すわけにはいかない。先程述べたような姿勢だけは持って欲しい。もし出されぬときは、五年になってもよいではないか。

(ロ)個人について

遠藤、藤田理事――代議員の分は代議員で決定すべきではないか。地方協会と連盟、日本協会と重なり合っていて一人あちこちに支出せねばならないことが起こり得る

荒川理事長――地方協会と加盟団体は重なっている人が多いので、加盟団体を除くことにしたい。なお、個人の部の地方協会分は機関誌広告でもよいことにしている。

(ハ)賛助者について

賛助者については、林副会長の執行部に一任する。財政的に負担できない地方協会、加盟団体等については、財政措置をとくに考えるということで、原案より(ロ)個人の地方協会加盟団体の加盟団体が「5」を除き承認。臨時代議員会を六月～七月に招集するか、文書回答を求めるかは、執行部に一任することで決議。

○競技委員会（安藤委員長）

(イ)ＩＨＦ主催のソウルでのレフェリー講習会について6月3日～9日まで日本からは十一名が参加。

(ロ)第三十回全日本総合選手権（明年一月十七日から二十一日までの五日間千駄ケ谷東京体育で開催予定）の社会人チームの選出については、東部（北海道、東北、関東）中部（東海、北信越、近畿）西部（中国、四国、九州）と分け、各地区の理事から責任者を決めて選出にあたって欲しい（決定次第日本協会に届出る）。なお、将来社会人チームを拡大して、クラブ選手権大会にしていきたい。

(ハ)上級コーチ養成講習会について（大西技術委員長補説）

できれば本年度（明年）二月に開催したい。五十名の参加者を集りたいが、その中各県より有力なスタッフ各一名、中央より十名位入っての人選をしたい。

荒川理事長――スポーツトレーナー一、二級との関係、受講者の待遇、専門課程の原案等の明細を会に示して実施してほしい。このためには委員会を設け、この会の人選は理事長と競技委員長に一任してほしい。

(ニ)土曜の集い（勝普及委員長補説

六月末までに開催希望地のない場合は事業を中止する。……（東京では「夜の集い」として東京都協会が主催し、既に六月十八日（日）に第一回が行なわれ、第二回七月十九日(水)、第三回として八月十八日（金）が予定されている

○強化委員会（渡辺委員長）

(イ) 53年度総括、強化コーチ

総括コーチ　渡辺　慶寿

「ハンドボール」

53年6月号（第164号）目次

【表紙写真】
日本チェコ（スラビア・プラハ）第一戦、前半大同・蒲生選手の速攻からのシュート

強化コーチ　竹野　奉昭、鈴木義男、术野　実

㋺　強化コーチ巡回指導

組織の小さい県を対象に派遣及びナショナル、ヤングナショナルの指導等について説明。

【遠藤理事よりチーム作りについて質問があり、幸田部長より回答がなされた。また第九回男子世界選手権大会で十二位という成績に対し不満とする発言もあったが、委員長より内容的に見て成果があったと回答がされた。】

○国際委員会（境井委員長）

西ドイツ派遣と招待を来年度計画している。

◎以上で各委員会よりの問題となる点を指摘して協議し、昭和五十三年度事業の概要を了承。

【出席者】林、徳永副会長　荒川理事長　石切山稔治（北海道）森　泰一（東北）　柳沢　民弥（北信越）　伊藤　和夫（東海）　幸田　末之（近畿）　柳井　文治（中国）　藤田　八郎（九州）　山田　稔（実連）　遠藤健治（教職員連）嶋田新太郎（高体連）　清水　正（高体連）　中沢　重夫（学連）――大野金一　安藤　純光　岡前　義春　境井　秀三　勝繁夫　渡辺　慶寿　大西　武三　山田哲男―（各会長推せん理事）

昭和53年度各種全国大会予定表

日本ハンドボール協会

6月25～29日	第10回全日本自衛隊選手権大会	東京・駒沢
8月1～6日	第9回全日本高校選手権大会	郡山市
8月9～13日	第21回全日本教職員選手権大会	宮崎市
8月17～18日	第7回全国中学生大会	愛知県
8月21～22日	第5回全国高専大会	岐阜県
9月15日	第28回全日本学生東西対抗	愛知県
10月16～20日	第33回国民体育大会（長野県）	更埴市・戸倉町
12月5～10日	第21回全日本学生選手権大会	東京体育館
1月17～21日	第30回全日本総合選手権大会	東京体育館
1月26～28日	第19回全日本実業団女子選手権大会	京都府立体育館
2月11～15日	第19回全日本実業団男子選手権大会	大阪市中央体育館
2月11～14日	第9回全日本実業団男子トーナメント大会	大阪市中央体育館
3月25～27日	昭和53年度全国高校選抜大会	愛知県

付　○日本リーグ

前期　6月10日～7月29日

後期　9月9日～11月12日

○第7回女子世界選手権大会

アジア予選　6月3日～9日　韓国（ソウル，大田）

選手権　11月30日～12月10日　チェコスロバキア

新加盟チームを全国に呼びかけ

日本リーグ、一・二部制に備えて

日本協会と日本リーグは、このほど各都道府県協会と高体連を除く各全国連盟に、明年度からの一・二部制施行にともなう「教規チーム」の加盟を呼びかけた。

日本リーグは、本誌既報のとおり、明年度から男女とも一部六チームに変更、新たに二部リーグを男女とも六チームによって編成されることを決めている。

現在、日本リーグは、男女とも八チームづつに、二部リーグ設立には各四チームが不足している。

このため、三年前のリーグ発足時と同じように、各組織、各加盟団から新加盟チームを募り、今秋「二部大会」を行ない。明年度に備えることになったものである。

教たに加盟を名乗り出たチームは、そのまま二部に組み入れられるわけではなく、「二部大会」で一、二位となれば、今年度の日本リーグ七、八位との「4チームリーグ」に出場でき、さらに、そこで一位となれば、今年度日本リーグ六位と「入れ替え戦」を行う権利を得る。

つまり、新加盟希望チームは、勝ち進みさえすれば、明年度、一部入りが可能なわけだ。

どうしても、一・二部制を確立させたいとする日本リーグ当局は今回の呼びかけで、「二部六チーム」のメドをつけたいとしている申しこみ期限は、5月10日。

福岡市が韓国と定期戦

福岡市協会は、かねてから韓国との親善試合を定期戦化する意向をもち、同国内の市協会に相手を求めていたが、このほどソウル市と第一回交流試合を行うことにこぎつけ、4月1日福岡市選抜チームが遠征、ソウル市1位の高麗高OBと対戦した。

▽第1回福岡市×韓国都市親善試合

高麗高OB（韓・ソウル） 22（10－12、12－8）20 福岡市選抜（日）

8月、九州で日韓高校

日本協会は、4月22日の常務理事会（東京）で、今夏に予定される第12回（女子第5回）日韓高校交流について協議した。

その結果、昨年訪韓した九州ブロックが、男女各二試合の受け入れを行うことになり、8月17日熊本で第1戦、19日福岡で第2戦と決めた。

日本を急迫する韓国

3日からソウルで世界女子アジア予選

台湾も参加

今冬チェコで開かれる第7回世界女子選手権のアジア大陸代表一カ国を決めるアジア予選が6月3日から9日まで、韓国の首都ソウル特別市の「大学体育館」に日本、韓国、台湾の三カ国が参加して2回総当り法式によって行われる。

6度目の本大会出場を目指す日本は、モントリオールオリンピック五位入賞のあと、メンーバーを一新、昨年度から数次の強化合宿を重ね、新たなチームカラーによる強力チームを造りあげた。

ライバル韓国の成長も著しいと伝えられるだけに、3年前行われた予選時のように楽なペースでの連勝は難しいとみられるが、コーチングスタッフは、自信満々の乗りこみである。

日本代表チーム（横地宇吉団長鈴木義男監督ら役員4、選手14）は6月1日午後小牧（名古屋）国際空港から出発する。

世界女子選手権代表をかけてのアジア予選は、50年3月韓国で行われたのについで二度目。

この時日本は、韓国に22—17、23—16、台湾に28—6、45—4と楽勝。さらに、東京で行われたイスラエルとの決勝も19—4、22—8で簡単にとり、男子同よう、女子もアジアでは、日本が圧倒的に優勢なことを示した。

しかし、それからの3年間、韓国、台湾は、着実に力を伸ばして「打倒日本」の目標に近づいている。

まだ負けはしない——日本協会首脳のみかたは自信に満ちているが、その表情は、かつてないほど引きしまったものになっている。

日本チームの中に、新旧の断層が出来てしまったのが一因だ。

モントリオール・オリンピック出場までの苦しい道のりを知っている選手が、加藤、穂積（ともに日本ビクター）、松下、河田（ともにジャスコ）、小森（ブラザー工業）、紀野（立石電機）の6人だけ。

あとは、昨年6月のナショナルチーム新編成時に加わった若手ばかりで、今春になって、GKに鈴木（日本ビクター）がカムバックどうにか、攻守の柱だけは〃国際級〃の顔ぶれが揃ったというのが実情である。

鈴木は、加藤らモントリオール組よりも、全日本にリストアップされたのは早い〃ベテラン〃。

カギ握る第二線クラス

今回の予選を、コーチングスタッフは、この7人で乗り切る作戦のようだ。

FP勢は、一人々々が特長のある攻撃能力をもち、ヨーロッパ各国と比較しても、そん色はない。

特に、各選手が、モスクワへの愛欲を持ち、自からのプレーを一廻りも、二廻りも大きくさせている。

問題は、ウエイティングメンバーの力が緊張の舞台で、どれほど発揮できるかだ。

小島（日本ビクター）、横山（東京重機）、清水（東北ムネカタ）らは社会人で、藤井（日体大OG）は学生で、いずれも昨年日韓交流のメンバーとして、韓国遠征を行っており、日本の前へ立ちはだかるとみられる韓国の手の内は、ある程度、体験して来ている。

特に、小島はPTのスペシャリストを兼ねながら17得点（5試合）をマーク、藤井も7得点（4試合）と韓国守備陣を崩した自信は、ここに来て、活きてくるだろう。

また、歴代ナショナルチームの看板ともいうべき小柄なアタッカーとして、横山（東京重機）が成長を遂げ、3月のマンハイム（西ドイツ）戦でも、切れ味鋭いところを見せていたのは、期待がもてる。

ただ、乗りこみ（遠征）の試合は、五分々々の力ではまずい。

少くとも、ホームチームをナックアウトするだけの実力差がないと、勝運は舞いこんでこないし、ましてや、韓国ファンの勢狂、会場のムードは独得のものがある。こうした〃環境〃にまどわされて自分のペースを見失うようだと、苦しい戦況を招くことになるが、コーチングスタッフは、新生直後の不安から、合宿を重ねるごとに明かるい展望を描いており、新しいカラーを打ち出すことに、充分成算があるようである。

韓国、かつてない意欲

韓国は、自信たっぷりだと伝えられる。

昨秋、候補選手32名を発表し、この大会直前まで、強化につぐ強化を積み、日本情報の収集も怠りないという。

これほどまでの闘志を見せるのは、国家そのものの成長ムードと一九八二年または八六年にアジア

日本女子代表チーム

▽団長　横地宇吉　46才、日本協会理事、同女子強化部長

▽監督　鈴木義男　43才、日本協会強化委員、ジャスコ監督

▽コーチ　池田鉄哉　35才、日本協会強化委員、日本ビクター監督

▽同　白神邦雄　31才　日本協会強化委員、ブラザー工業監督

▽選手・GK　鈴木はる子　25才　171㎝　66K、日本ビクター（昭和学院高出）、48年7月全日本入り（今春復帰）公式国際試合出場・初

GK　山本福代　24才、164㎝、61K、ブラザー工業（佐世保商高出）、52年6月全日本入り、52年日韓社会人代表、公式国際試合出場・初

GK　丸山加代子　21才、166㎝　63K、立石電機（熊本女子商出）52年6月全日本入り、52年日韓社会人代表、公式国際試合出場・初

FP　加藤美起子　23才、主将　165㎝、63K、日本ビクター（湧永高出）、49年10月全日本入り、50年世界選手権、モントリオール五輪代表、公式国際試合出場19回（11得点）

FP　松下仁美　23才、163㎝、60K、ジャスコ（三本松高出）、49年10月全日本入り、50年世界選手権、モントリオール五輪代表、公式国際試合出場22回（68得点）

FP　小森久里子　23才、166㎝　62K、ブラザー工業（佐世保商出）



スポーツ安全協会傷害保険

財団法人スポーツ安全協会・幹事会社＝東京海上火災保険株式会社

1978

スポーツ団体だけでなく
子ども会，婦人団体，地域のクラブ等の方々も
10名以上のグループで，ご加入になれます

●保険料は（お一人につき）——

〈第1種〉スポーツ少年団，こども会，婦人団体，地域スポーツクラブ，こてきバンドなど（年額300円）

〈第2種〉スポーツ競技を目的とした団体など

A：山岳会，スキンダイビングなど（年額4,800円）

B：スキー，ラグビー，サッカーなど（年額2,800円）

C：卓球，テニス，水泳，軟式野球，バレー，陸上，ハンドボール，剣道など（年額1,200円）

●体協公認等の指導者も10名以上まとまった場合は第1種で加入できます。また，指導する団体の一員としても加入できます。

●保険金額は——

死亡・後遺障害：3,000,000円
（後遺障害の場合は3％から100％まで）

非入院中：日額1,000円（支払限度90日間）

入院中：日額1,500円（支払限度180日間）
（非入院中，入院中を合わせても180日限度）

注）特にご希望の場合は保険料，保険金額が上記の半額になるS型の加入も可能です。

●適用の範囲は（担保条件）——

○加入者の所属する団体の管理下における活動中の事故。

○団体が指定する集合，解散場所と加入者の住所との通常の経路往復中の事故。

●保険期間——

毎年4月1日より翌年3月31日まで。ただし，中途加入でも翌年3月31日までです。
（申込は3月1日から受付ます）

●加入申込み，資料の請求，お問合せは…………

スポーツ安全協会各都道府県支部（主として教育委員会保健体育課にあります）。東京海上火災の営業店にご照会ください。

(財)スポーツ安全協会
東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館
電話　467－3111(代)　直通460－6263

競技大会を誘致しようとするスポーツ界の高まり、さらには再三の日韓交流で、ハンドボールは男子よりも女子のほうが、日本を追い抜く可能性が強いこと、などがあげられよう。

たしかに、昨年の交流(女子)で日本は社会人(全日本実業団選抜)が1勝4敗、学生（全日本学生選抜）が1分3敗、高校（九州高校選抜）が2敗とブが悪いし、特に学生高校は、近年よくて五分の星ほとんどが日本側の負け越しである。

この勢いは、当然、韓国女子界全般をおおっており、しかも、主力選手一人々々の「日本コンプレックス」を薄めさす効果につながっている。

あとは、各単独チームの強さがナショナルとして一本にまとまりさえすればよいのである。

主力は3年前と変らず

韓国協会は、新体制のもとに、強化の照準をこの一点にかけ、近年の日韓交流で切り札として大活躍したプレイヤーを網ら、強力ナショナルチームの編成を目指したのだ。

最近の韓国女子の有力チームといえば、社会人の造幣公社、仁川市庁、学生の忠州工専、韶星女大高校の忠州女商井邑女高などでこれらのチームのエースとして、日本勢を苦しめた李相玉、朴妙順、姜京宜、李京姫、李南子、張泉嬉裵明子らが、今回の代表チームの主力に予想される。このうち李（京）、姜、李（相）、朴の4人は、3年前のアジア予選に出場しており、姜は、古佐原（日本、東京重機、引退）についで個人得点2位李(京)は、忠州女商2年生の時からナショナル入りしていた逸材、日本関係者も「将来はアジアナンバーワンになろう」といっていた前回終了後、当時の全日本主将・島田夏枝選手は本誌（128号）に「李相玉のロングシュートを警戒していると、姜京宜がゆさぶってくる。二人とも18才（当時）ということなので、今後はいっそうマークしなければならないだろう」という感想を寄せているが、李(京)李(相)、姜のトリオを、どうおさえるか、今回も日本ディフェンスの課題として残っている。

若手中心の台湾も元気

台湾も元気だ。年少層への重点施策が、しだいに成果をあげて来ており、コーチングスタッフ、選手とも「参加」から「善戦」、さらに今回は、あわよくば「1勝」へと目標を進めている。

前回の予選では、16才の選手が4人いたが、彼女らの成長を中心に今回も、かなり若いメンバーの登場とみられる。

ナショナルの顔ぶれについてはいささか資料不足だが、国内のトップチームはいぜん台中紡織（社会人）。これを追って稲江家職(高校)、台北体専(学生）などに力があるようだ。

昨春、台湾へ親善旅行した立石電機（熊本）が、請われてこれらのチームと〃交流〃しているが、台北体専には23－1、台中紡織には19－3、稲江家職には15－3で大勝しており、また、同じ頃、訪台している韓国の女子高校チーム（注・本誌調べでは慶福商高単独）には、接戦ながら敗れている。

これらから推して、台湾ナショナルの実力は、日本の高校程度といって、さしつかえなかろう。

日本の主力にたくましさ

ところみてくると、日、韓とも台湾戦を小手調べにして、〃対決〃へ臨むことになろうが、それだけに、台湾戦でいかに波にのるかが微妙なポイントとなってくる。

日本としては、主力がいくたの修羅場をくぐり抜け、特にモントリオール前の「三大陸予選」（ミルウォーキー）の勝ち抜きと、モントリオール大会でルーマニアに20－21と激戦、カナダに8－12から逆転してあげた一勝は、たくましさという、かけがえのない〃財産〃を、もたらしている。

日本チームの最終ゴールは、今秋の世界選手権本番よりも、二年後にせまったモスクワに於ける上位進出にある。

今回の予選を突破すれば、来秋以降に開かれるであろう「モスクワオリンピック・アジア予選」も現時点で予想されるより、楽に乗り切れると思う。

逆に、ここで拙戦をするようだと「モスクワ予選」は、ますます苦境に立たされてしまいそうだ。

審判はハンガリーペア

IHF(国際ハンドボール連盟)は、世界女子選手権アジア予選のレフェリーに、M・マルキ、G・ヒュレップのハンガリー・ペアを指名した。

また、IHFからのウイットネス（立ち合い人）は、M・リンケンバーガー事務総長(西ドイツ)、技術委員会代表はK・E・ワング氏（ノルウェー）と決まった。

渡辺和美アジア選出IHF理事（日本）は、リンケンバーガー事務総長とともにウイットネスをつとめる。

世界女子選手権 アジア地域予選

- 6月3日 韓国——台湾1回戦
- 4日 日本——台湾1回戦
- 5日 日本——韓国1回戦
- 7日 台湾——韓国2回戦
- 8日 日本——台湾2回戦
- 9日 日本——韓国2回戦

50年7月全日本入り、モントリオール五輪代表、公式国際試合出場9回（12得点）

FP 河田栄子 22才、167cm、69K、ジャスコ（山陽女高出）、49年10月全日本入り、50年世界選手権、モントリオール五輪代表、公式国際試合出場19回（17得点）

FP 穂積美保子 22才、168cm、67K、日本ビクター（涌谷高出）、49年10月全日本入り、50年世界選手権、モントリオール五輪代表、公式国際試合出場18回（11得点）

FP 紀野奈々美 22才、166cm、62K、立石電機（大分東高出）、49年10月全日本入り、50年世界選手権、モントリオール五輪代表、公式国際試合出場18回（12得点）

FP 小島和子 22才、164cm、58K、日本ビクター（水海道二高出）、52年6月日本入り、52年日韓社会人代表、公式国際試合出場・初

FP 斉藤ゆき子 22才、156cm、62K、日本ビクター（鉾田二高出）、52年6月全日本入り、52年日韓社会人代表、公式国際試合出場・初

FP 清水みよ子 21才、170cm、60K、東北ムネカタ（福島二瀬中出）、52年6月全日本入り、52年日韓社会人代表、公式国際試合出場・初

FP 横山祐美子 21才、159cm、58K、東京重機工業（和洋女高出）、52年6月全日本入り、52年日韓社会人代表、公式国際試合出場・初

FP 藤井日出子 22才、164cm、58K、日体大OG（明倫高－日体大出）、52年6月全日本入り、52年日韓学生代表、公式国際試合出場・初

海外トピックス(1)

【ヨーロッパ4大会】

杉山茂
（NHK運動部）

恒例のヨーロッパ4大会のうち男子カップスを除く勝者が決まり半年にわたる熱戦も、いよいよ大詰めとなった。

ヨーロッパカップ

世界選手権に備えるという理由で、ソ連、ルーマニアが代表を送らなかったため、ややスケールの小さい経過となったが予想どおり、東欧勢が強く、決勝は、SC・マグデブルグ（東ドイツ）×WSK・ウロクラフ（ポーランド）の初顔合せから、ナショナルプレイヤー五人をもつマグデブルグが初優勝を飾った。

マグデブルグは、一回戦から次々と強豪に当たり、それだけに価値ある優勝だった。

特に、I回戦のパルチザン・ブジテロバール（ユーゴ）戦は、第1戦33—23のあと、第2戦21—28と苦しみ、つづくデュクラ・プラハ（チエコ）戦は1勝1分、準決勝のホンブド・ブダペスト（ハンガリー）戦は22—21、19—17の接戦だった。

しかし、ドライボート、シュッツ、クルーガー、ゲルラッハ、ヴイゲルト、GKシュミットらの攻守はこれらのせり合いを切り抜ける力と巧さがあった。

準優勝のウロクラフは、ポーランド代表として初の決勝進出で、エース・クレムペルの活躍がやはり光っていた。

〝西側〟の期待を背負っていたカルビサ・アリカンテ（スペイン）GW・ダンケルセン（西ドイツ）のうち、ダンケルセンは準々決勝で姿を消したが、スペインナショナルとも云うべきアリカンテは、ベストフオアに勝ちあがった。準決勝でもウロクラフに一歩も引かぬ健斗をみせたが、第1戦を18—20で落としたのがのが痛く惜しくも敗退した。アリカンテは、今春スペイン遠征した全日本を23—21で破っている。

女子は、昨年、カップ・オブ・カップスで初優勝したTSC・ベルリン（東ドイツ）の快勝だった強いて苦戦をあげれば、準決勝のルク・ショルゾフ（ポーランド）戦。ホームゲームは23—8の楽勝だったが、乗りこみの一戦は18—17とせりあった。

決勝の相手は、バサス・ブダペスト（ハンガリー）だったが、立ちあがりから優位に立ち19—14で宿願を遂げた。

クラウゼ、リヒターの両主砲が好調で、今年の試合ぶりなら、ソ連勢が出ていても、優勝を飾れたかもしれない。

なお、東ドイツの男女アベック制覇は一九六六年の男子DHfK・ライプチヒについで二度目の偉業。

大波乱と話題を集めたのはベスター・オスロ（ノルウエー）の活躍準々決勝で優勝候補の一角、TJ・ゴットバルドフ（チエコ）を11—14、15—11、二戦合計26—25で破ったのである。

だいたいホームゲームというのは有利なものだが、この逆転はすばらしい。勝因はエース・フラセットの巧技がいちだんと冴えたことにあった。

今はナショナルから退いているが、かっては、彼女一人に全日本が世界選手権で屈伏させられている。

▽第18回男子決勝
SC・マグデブルグ 28（18—10、10—12）22 WSK・スラスク・ウロクラフ

▽第17回女子決勝
TSC・ベルリン 19（9—7、10—7）14 バサス・ブダペスト

カップ・オブ・カップス

すでに女子は全月程を終了、フェレンクバロス・ブダペスト（ハンガリー）が、SC・ライプチヒ（東ドイツ）を18—17で破り、男女両大会を通じ初めてハンガリーに栄冠をもたらした。

前評判はライプチヒのほうが高かったのだが、決勝がホームゲームという利点を活かした。

東欧上位と云われるなかで、スベンボリユー・HK（デンマーク）が、チエスカ・ソフィア（ブルガリア）を破って四強入りしたのは特筆される。

男子は（第3回）は、VfL・グンメルスバッハ（西ドイツ）×メゼレスリカ・ニス（ユーゴ）が決勝カード、5月4日ドルトムントで行われる。

人気のグンメルスバッハは、準々決勝以降、つねに一万人を上廻る大観衆を動員、事実上の決勝と云われたASK・フランクフルト（東ドイツ）との一戦は史上に残る激戦だった。

フランクフルトは第一戦を17—13で取ったが、第二戦、グンメルスバッハの斗志はすさまじく、残り3分14—9と5点差の逆転に成功、15—10で勝ち、浮上した。

グンメルスバッハは、世界制覇の立役者デッカルム、ブラントフエイ、ヴンデルリッヒらが主力。

海外トピックス ②

〜ヨーロッパ4大会閉幕〜

本場、ヨーロッパのビッグイベント、いわゆるヨーロッパ4大会が、4月末から相次いで新チャンピオンを決めると同時に、熱戦の幕を閉じた。

4大会勝者の国別内訳は、東ドイツ2、ハンガリー、西ドイツ各1。今シーズンは、有力チームをもつソ連、ルーマニアが各大会とも"棄権"していた。

マグデブルグが初優勝

第18回男子ヨーロッパカップ決勝は4月22日東ドイツ、マグデブルグのヘルマンホールに、超満員二万のファンを集めて行われ、地元SC・マグデブルグが初優勝を飾った。

SC・マグデブルグ（東ドイツ） 28（10―12、18―10）22 スラスクウロクラフ（ポーランド）

マグデブルグはGKシュミット、クレエゲル、ヴイーゲルト、ドライヴロットらのナショナル、ウロクラフは、ポーランドの主砲クレムペルを持つ攻撃主体の同型チーム。

はたして、激しい点のとりあいになったが、マグデブルグは前半7分4―4のタイにしたあとは、GKシュミットの好守もあって、ウロクラフの追加点をおさえる一方、チャンスを確実にいかす攻撃で、しだいに主導権を握り、前半終了時には8点差をつけた。

後半も同じようなペースで、ウロクラフは、クレムペルが8ゴールをあげたものの、要所は密着マークでおさえこまれ、完敗だった。

女子も東ドイツ代表勝つ

第17回女子ヨーロッパカップ決勝は、4月16日東ベルリンで行われ、ホームチームのTSC・ベルリンが初の栄冠を獲得した。

東ドイツ代表の男女制覇は、12年ぶり2度目の偉業。

TSC・ベルリン（東ドイツ） 19（9―7、10―7）14 バサス・ブダペスト（ハンガリー）

そのまま主力は、東ドイツナショナルの要ともいえるベルリンは地元の声援もあって、立ちあがりから先行しつづけ、危なげない勝ちっぷりだった。

ブダペストも、今季好調のサムスを軸に食い下ったが、ベルリンの多彩な攻撃に、ディフェンスがゆさぶられてしまい、善戦空しかった。

なお、今大会で、ノーマークのIL・オスロ（ノルウェー）が、TJ・ゴットバルドフ（チェコ）などを破ってベストフォアに進出、話題をまいた。オスロのエースは、かつてナショナル時代、再三、日本を苦しめたK・フラセットだ。

グンメルスバッハ笑う

第3回男子カップ・オブ・カップスの決勝は5月4日西ドイツ・ウエストハーレンに一万二千という大観衆を集めて行われ、人気のVfL・グンメルスバッハ（西ドイツ）が、後半、地力を示して初優勝した。

VfL・グンメルスバッハ（西ドイツ） 15（4―6、11―7）13 ゼレズニカ・ニーシ（ユーゴ）

準々決勝のASK・フランクフルト（東ドイツ）戦以来、つづけて一万をこす大観衆を動員しているグンメルスバッハの人気は、やはり大したものだ。

この試合も、西ドイツの世界制覇に一役も、二役もかったデッカルム、ブラント、フエイ、巨人ヴンデルリッヒらが、看板どおりの活躍を見せ、前半の劣勢をくつがえし快勝した。

それにしても不思議な試合。強力アタッカーを揃えた両軍が前半あげた得点は6―4。後半は打って変った乱打戦となり、グンメルスバッハは後半4分6―6のあと一気に勝利へ突っ走った。

グンメルスバッハは、ヨーロッパカップでは過去5度優勝しているが、カップスでは初。来春、二度目の日本遠征を計画していると伝えられる。

ブダペスト、東独に一矢

第2回女子カップ・オブ・カップスの決勝は4月28日ハンガリーのブダペストで行われ、本拠のフエレンクバロス・ブダペストが逆転で、初のビッグタイトルを手にした。

フエレンクバロス・ブダペスト（ハンガリー） 18（9―10、9―7）17 SC・ライプチヒ（東ドイツ）

ライプチヒが、この試合に勝つと東ドイツ勢が、4大会のうち三つのタイトルを持ち帰ることになるわけだったが、フエレンクバロスが、終盤鮮やかな追撃を実らせて逆転に成功、満員の地元ファンをエキサイトさせた。

特にタカクス、ヘルケスのコンビによる攻撃はみごとで、バサスとフエレンクバロスの両ブダペスト勢の好調は、今秋の世界選手権におけるハンガリー株を高めさせそうだ。

（杉山）

第三回日本リーグ前期大会各地で熱戦

日本リーグも今年で三年目を迎え一段と盛り上がりを呈してきたようである。

男子では、第二回優勝の湧永薬品が生駒、池ノ上らの大型新人（共に五十三年全日本選手）を迎え入れ、これらの選手を津川主将をはじめ従来のメンバーがいかにして使って行くかが一つのポイントとなって来るであろう。また蒲生以来大学(出身)者の補強を加えていない大同特殊鋼ではあるが、花輪、中井、松原、柳川（兄弟）らに加え、蒲生、大原、中本とチーム力は以前にも増して充実味を滞びて来て、湧永をどう崩すかが二つ目のポイントになって来るであろう。そして三位には甘んじているが、新進いちぢるしい本田技研鈴鹿の追撃も見逃せない。

これら三チームによる三位までの位置づけは動かし難い――ことのようにも思えるが、他の三景イーグルス、大崎、日新、三陽商会と常に上位進出を念頭にいかにして試合を持って行くか、やはり、トップレベルにある日本リーグならでわの大いに興味を持たれるものとなって来るであろう。

一方女子では、日本リーグを含め昨年の四タイトルを独専した日本ビクターがやはり最有力優勝候補に上げられるが、三月に行なわれた実業団選手権大会では、日立、ジャスコなどと殆んどの実力差が見受けられなかっただけに、混戦模様となって来るのは必至であろう。

また今大会からは、小森が復起するであろうブラザー工業、そして立石電機、大崎電気、東北ムネカタ新リーグ入りの北国銀行と、いずれも他の七チームにひけをとらないチーム力を持っていることなどから、やはりリーグが開幕されないと順位の予想はつけ難いものがある。

湧永、大型新人の補強により果せるかなリーグ二連覇!!

話しを男子に戻すと、来シーズン（第四回大会）からは、6チーム制が確定となったが、この大きな問題から前述の上位二チーム(湧永、大同)を除き、他の6チームではかなりの激戦を予想されることが特筆すべきことと言える。

51年秋に男女共に八チームで始められた日本リーグも、今年で第三回大会を迎え、更に充実内容をとの事で検討がなされた結果、六チーム制ということになったが、如何とも寂しいような気もする。

何はともあれ参加各チームは、ハンドボール界発展の為に是非とも素晴しいプレーを見せて頂きたいものである。

□ 第3回 日本ハンドボールリーグ日程表

<前期>

◎印女子カード

週・日付	会場	試合
第1週第1日 6月10日(土)	愛知県体育館	本田一イーグルス 14:00~15:10 大同一日新 15:20~16:30
第1週第2日 6月11日(日)	知多市体育館	本田一日新 13:00~14:10 大同一大崎 14:20~15:30
第2週第1日 6月17日(土)	呉市体育館	◎ジャスコ一北国 13:00~14:00 湧永一三景 14:10~15:20 イーグルス一日新 15:30~16:40
第2週第2日 6月18日(日)	新居浜市体育館	◎大崎一北国 13:00~14:00 湧永一イーグルス 14:30~15:40
	高知県民体育館	◎立石一日立 13:00~14:00 本田一大崎 14:30~15:40
	徳山市体育館	◎ジャスコ一ムネカタ 13:00~14:00 三景一日新 14:20~15:30 大同一三陽 15:50~17:00
第3週第1日 6月24日(土)	大阪市中央体育館	◎立石一ムネカタ 15:00~16:00 ◎ビクター一日立 16:10~17:10 イーグルス一三陽 17:20~18:30 ◎ブラザー一北国 18:40~19:40
第3週第2日 6月25日(日)	大阪市中央体育館	◎日立一北国 13:00~14:00 大同一イーグルス 14:10~15:20 ◎ブラザー一大崎 15:30~16:30
	神戸市立中央体育館	◎ビクター一ムネカタ 14:00~15:00 三景一大崎 15:20~16:30
	京都府立体育館	◎立石一ジャスコ 15:00~16:00 湧永一三陽 16:20~17:30
第4週第1日 7月1日(土)	横浜文化体育館	◎ビクター一ブラザー 18:30~19:30 本田一三陽 19:40~20:50
第4週第2日 7月2日(日)	市川市スポーツセンター	◎ブラザー一ジャスコ 13:00~14:00 湧永一日新 14:10~15:20
	小松市体育館	三景一イーグルス 14:00~15:10 ◎ムネカタ一北国 15:30~16:30
	浦和市民体育館	◎日立一大崎 14:00~15:00 大崎一三陽 15:10~16:20
第5週第1日 7月8日(土)	福島市体育館	◎ジャスコ一日立 16:20~17:20 日新一三陽 17:35~18:45 ◎ブラザー一ムネカタ 19:00~20:00
	熊本市体育館	◎立石一大崎 16:00~17:00 本田一三景 17:10~18:20
第5週第2日 7月9日(日)	長崎国際体育館	湧永一大崎 13:00~14:10 ◎ビクター一大崎 14:30~15:30
第6週 7月16日(日)	栃木県体育館	◎大崎一ムネカタ 13:00~14:00 イーグルス一大崎 14:15~15:25 ◎ブラザー一日立 15:40~16:40
	石川県体育館	◎立石一北国 13:50~14:50 大同一三景 15:10~16:20
	四日市体育館	◎ビクター一ジャスコ 15:00~16:00 湧永一本田 16:10~17:20
第7週 7月23日(日)	岐阜県民体育館	◎ジャスコ一大崎 16:00~17:00 ◎立石一ブラザー 17:10~18:10 大同一本田 18:20~19:30
	水海道二高体育館	◎日立一ムネカタ 13:00~14:00 大崎一日新 14:10~15:20 ◎ビクター一北国 15:30~16:30
第8週 7月29日(土)	駒沢屋内球技場	三景一三陽 15:10~16:20 ◎ビクター一立石 16:35~17:35 湧永一大同 17:50~19:00

スラビア・プラハ IPS 来日対戦結果報告

（5/14〜5/25 名古屋、広島、京都 岡山、東京、6会場）

大同、プラハに快勝！

5月14日(日)愛知県体育館に二千余人の観衆を集め、チェコ・ハンドボールチームを迎えての久し振りの国際試合が開催された。試合は以下の戦評の通り、大同特殊鋼の一方的なものに終ったが、チェコチームの随所での妙技に絶え間ない拍手が送られていた。

前半一分過ぎ大同・蒲生の中央からのロングシュートの得点により大同が先行。しかしその後、プラハはオリンピック経験者パベル、ボフミルらの得点により二〇分近くまでは8—8と互角に試合を運び、二〇分を過ぎた頃には大同の一方的な試合展開となり15—11の大同の4点リードで後半に移る。後半に入ってからは、プラハは長い船旅の疲れからかミスが多くなり、そのミスボールを大同はうまく処理し、柳川、蒲生らの速攻で15分過ぎには25—15とあっさりと点差が開き、大同側の完全なペースとなり、そのままの差で試合が終了。

また、この試合、大同・花輪の8得点、蒲生の5得点そして、GK柳川の超ロングシュートによる1得点などで、二千人余りの観衆が沸きかえった。

	【スラビア】	得	【大同】	得
GK	カリボダ	0	柳川清	1
GK	バルダ	0	大園	0
FP	ピーナ	0	中井	4
FP	フネブコフスキー	5	松原	2
FP	クラトフビール	3	花輪	8
FP	ハンツル	2	柳川実	2
FP	トゥーマ	0	大原	4
FP	ミケシュ	4	中本	0
FP	テサリーク	1	清生	5
FP	リバンスキー	1	更谷	2
FP	ストルツ	0	清崎	0
FP	ストラカ	2	浦田	0
FP	チュンプル	1	大園	0
FP			小野	1
FP			赤堀	0
	19	(3) PT	29	(3)

（審・角・浅田）

湧永に一点差で二戦を飾る！

5月16日(火)・広島県体育館

【試合経過】

静かな立ち上がりとなった。湧永は山本が、プラハはクラフトビールがシュートを決め合って2—2。7分にPTを得たプラハはGK今井の術中に陥ってリードを奪うことが出来ず、逆に湧永は10分に津川、11分、12分には戸田の速攻による得点で5—2とリード。この辺りの湧永は非常に足運びがよくディフェンスも良かった。と言うよりもプラハの攻撃が単調すぎた。中盤から動きの良くなったプラハは着々と加点、23分には2点のリードを奪い返えした。しかし地元の声援を受ける湧永は、木野、高橋で同点、終了間ぎわには津川がねじ込み、湧永の1点リードで後半を迎えた。

後半に入り湧永は、攻めが消極的な展開となり、またそれがディフェンスの甘さへも影響し、プラハも共に一進一退の攻防が続き、プラハ2点リードのまま終盤を迎え、タイムアップ寸前に湧永が、木野—津川によるスカイプレーで点を返えすも、そのまま時間切れとなった。

	【湧永】	得	【スラビア】	得
GK	今井	0	ガリボダ	0
GK			バルダ	0
FP	津川	3	ミケシュ	2
FP	木野	1	ハンツル	1
FP	穂積	1	クラトフビール	7
FP	藤本	0	リバンスキー	1
FP	戸田	2	トゥーマ	1
FP	松本	2	ストラカ	2
FP	山本	5	ストルツ	0
FP	生駒	1	ピーナ	0
FP	池之上	0	フネブコフスキー	2
FP	高橋	1	テサリーク	0
FP	原田	0	チュンプル	1
FP	内田	0		
	16	(1) PT	17	(2)

（審・東・荒谷）

	【京都選抜】	得	【スラビア】	得
GK	山田(ワコール)	0	ガリボダ	0
GK	大塚(伏見工ク)	0	バルダ	0
FP	飯田(伏見工ク)	1	ピーナ	0
FP	平岡(塔南ク)	4	フネブコフスキー	2
FP	中井(伏見工ク)	7	クラトフビール	5
FP	大原(京産大OB)	3	ハンツル	2
FP	能波(京都教員)	4	トゥーマ	3
FP	生駒(京産大OB)	3	ミケシュ	4
FP	島中(乙訓ク)	0	リバンスキー	2
FP	林(東山ク)	1	ストルツ	5
FP	植村(東山ク)	0	ストラカ	4
FP	西田(京産大OB)	0	チュンプル	3
FP	三林(伏見工ク)	0	テサリーク・J	0
	23	(1) PT	30	(3)

	【全岡山】	得	【スラビア】	得
GK	田浦(児島ク)	0	ガリボダ	0
GK	村木(天城ク)	0	バルダ	0
FP	森安(岡山教員)	2	チュンプル	1
FP	佐藤(岡山教員)	1	トゥーマ	3
FP	瀬島(岡山教員)	4	ミケシュ	7
FP	塩尻(児島ク)	0	ストラカ	4
FP	依田(岡山教員)	4	ストルツ	4
FP	平松(児島ク)	1	ピーナ	1
FP	内藤(岡山教員)	0	クラトフビール	4
FP	田渕(天城ク)	0	フネブコフスキー	0
FP	浅沼(天城ク)	0	テサリーク・J	2
FP	鳥取(津山ク)	1	リバンスキー	3
	13	(0) PT	27	(3)

（審・光島・狩野）

◎第3戦
5月18日（木） 京都府立体育館
・スラビア・プラハ 30（16―11、14―12）23 京都選抜

◎第4戦
5月21日（日） 岡山県営体育館
・スラビア・プラハ 29（13―7、16―6）13 全岡山

若手全日本

引き分けにもちこむ

5月23日（火） 駒沢体育館
○観衆一千五百
全日本若手 19（9―6、10―13）19 ・スラビア・プラハ

木野新コーチを迎え、斉藤(幸)主将を中心に、平均年令二十三才で編成された若手全日本。前半4分、エース蒲生（大同）の豪快なロングシュートでまず一点を先守続く期待の新人池ノ上（湧永）が特意の左からの回り込みにより二点目を決め波に乗ったかに見えたが、8分にプラハ、ミケシュがあっさりと右サイドからシュートを決め、以後両チーム共に取られては取り返えす一進一退のゲームが展開され、前半残り7分近くでは完全にプラハのペースとなり、13―10のプラハの3点リードで前半を終了。

後半に入ってからは、蒲生、生駒（湧永）が二得点づつ4点を取り16分過ぎには、16―17と1点差に追いつき、観衆を大いに沸かせた。

その後も全日本の執拗な攻撃は止む事なく、決ノ上が更に2点を加え25分過ぎには蒲生が決めて19―18と初めてリードを奪ったが、終了3分前にプラハ、クラトフビールが決め、タイムアップとなった。





得	【全日本】		【スラビア】	得
1	柴田（本田技研）	GK	ガリボダ	0
0	井藤（日体大）	GK	バルダ	0
3	津川（湧永薬品）	FP	ストルツ	0
0	斎藤将（秋田教員ク）	FP	スピーナ	2
1	中井（大同特殊鋼）	FP	フネブコフスキー	2
2	佐藤（本田技研）	FP	クラトフビール	2
3	斎藤幸（大崎電気）	FP	ハンツル	1
1	花輪（大同特殊鋼）	FP	ミケシュ	3
2	穂積（湧永薬品）	FP	ストラカ	3
0	生駒（湧永薬品）	FP	トゥーマ	0
8	蒲生（大同特殊鋼）	FP	チュンプル	4
1	池之上（湧永薬品）	FP	リバンスキー	0
22	（1）	PT	（2）	17

（審・大塚 佐分）



全日本最終戦を

快勝で飾る！

5月25日（木）18時駒沢体育館
○観衆二千

前半3分、全日本は花輪の速攻により先行。続き津川、中井と加点6分過ぎには3―0とし全日本のペースで試合が進められたが、プラハは7分のフネゴフスキーのPTによる得点から徐々にペースを取り戻し、ピーナ、ハンツル、ミケシュと4点連取13分過ぎには5―4と全日本を逆転、次第に試合が盛り上がって行った。15分には全日本エース蒲生が決めて5―5とし、その後は両者共にシュート合戦となり、大いに観客を沸かせ、前半終了ぎわに穂積、蒲生の得点で12―10と全日本が2点のリードで後半を迎えた。

後半に入ってからは、両者共にエキサイ気味になり警告者4名ずつ、またプラハは最終戦と言う事もあってか、ハンツル、ヤロスラフと2名の退場が出る一幕もあり観客側の方がかえって静かになってしまった。中盤過ぎからはほぼ全日本のペースで試合が進み（多少審判とのくい違いからプラハチームが意気消沈してしまった）、前半の2点リードに加え後半は10―7で逃げ切った。

全日本 22（12―10、10―7）17 ・スラビア・プラハ

【写真はいずれも5月23日、全日本若手戦】



得	【全日本】		【スラビア】	得
0	井藤（日体大）	GK	ガリボダ	0
0	須波（筑波大）	GK	バルダ	0
1	志賀（大体大）	FP	ピーナ	1
0	斉藤幸（大崎電気）	FP	フネブコフスキー	1
4	生駒（湧永薬品）	FP	クラトフビール	6
2	柳川（大同特殊鋼）	FP	ストルツ	0
0	中本（大同特殊鋼）	FP	ミケシュ	3
8	蒲生（大同特殊鋼）	FP	テサリーク・J	2
4	池之上（湧永薬品）	FP	リバンスキー	0
0	斉藤将（秋田教員ク）	FP	ストラカ	3
		FP	トゥーマ	2
		FP	チュンプル	1
19	（2）	PT	（2）	19

（審・斉藤 千野）

関東学生春季リーグ結果報告

（男子）日体大7年振りに返り咲く
（女子）東女体大が二連覇

53年度春季関東学生リーグ（男子一部）は4月29日より東京・駒沢屋内球技場に於て熱戦の火蓋が切られ、男子は、渡欧中の北川監督に代って間もない一宮監督率いる名門日体大が7年年振りの優勝を遂げた。また女子（一部）では昨年にひき続き東女体大が持ち前の力を大いに発揮し、筑波、日体の追撃を振り切って定評通りの昨秋リーグに引き続き二連勝を飾った。

—以下、男・女のリーグ戦結果—

◎男子一部リーグ

4月29日
日体大 19—14 慶応大
法政大 16—13 日本大
早稲田大 22—22 中央大
筑波大 21—14 国士館大

5月5日
日体大 30—15 法政大
日本大 16—12 慶応大
中央大 21—11 国士館大
早稲田大 22—13 筑波大

5月6日
筑波大 27—16 法政大
中央大 28—15 慶応大
日本大 21—12 国士館大
日体大 21—11 早稲田大

5月11日
日体大 15—9 国士館大
筑波大 21—15 慶応大
早稲田大 19—15 日本大

5月12日
中央大 24—22 法政大
慶応大 17—16 国士館大
早稲田大 29—15 法政大
日体大 22—9 筑波大
日本大 25—15 中央大

5月19日
早稲田大 27—17 慶応大
法政大 22—17 国士館大
日体大 18—17 中央大
日本大 18—16 筑波大

5月20日（最終日）
早稲田大 25—22 国士館大
慶応大 25—18 法政大
日体大 28—16 日本大
筑波大 20—15 中央大

得	【早大】			【筑波】	得
0	富沢	GK		須波	0
0	譲原			酒井	0
1	筏	FP		白山	5
0	加々見			小山	0
0	中村			山上	0
7	吉見			堀越	0
5	神野			滝口	1
0	舟橋			松浦	2
4	犬飼			大石	0
1	武藤			河野	0
4	村崎			矢島	0
0	吉井	（審・藤原 一宮）		西山	5
22	(2)	PT		(1)	13

得	【日体】			【早大】	得
0	本田	GK		富島	0
0	井藤			菊島	0
2	工藤	FP		筏	1
1	越前			加々見	0
3	辻本			中村	0
0	前田			吉見	5
0	大西			神野	1
9	松井			舟橋	0
3	坂本			犬飼	2
3	長野			武藤	1
0	伊藤			村崎	1
0	岩本	（審・清水 岡本）		荒木	0
21	(4)	PT		(3)	11

得	【早大】			【日大】	得
0	富沢	GK		大畑	0
0	譲原			門脇	0
2	筏	FP		山口剛	1
0	加々見			今井	2
0	中村			前島	0
6	吉見			堂尻	4
3	神野			山口哲	6
0	舟橋			高梨	0
5	犬飼			仲田	0
1	武藤			早坂	0
2	村崎			金岡	0
0	植村	（審・藤原 一宮）		大鐘	2
19	(1)	PT		(1)	15

得	【中大】			【法大】	得
0	岩木	GK		会田	0
0	鷲巣			小川	0
10	由利	FP		吉田	4
0	高山			宮本	9
2	新谷			金田	1
5	和智			鮫島	0
4	森			中島	5
3	植木			工藤	0
0	西川			田辺	0
0	松原			加藤	1
0	村上			矢作	1
0	田口	（審・清水 岡本）		森本	1
24	(4)	PT		(2)	22

得	【日大】			【中大】	得
0	大畑	GK		岩木	0
0	門脇			鷲巣	0
1	山口剛	FP		由利	6
3	今井			高山	0
3	堂尻			新谷	2
6	山口哲			和智	2
3	高梨			森	1
8	仲田			植木	4
0	水島			西川	0
1	金岡			田口	0
0	大鐘			鈴木	0
0	堀越	（審・一宮 藤原）		藤井	0
25	(1)	PT		(1)	15

【スコアー】上段—早大—筑波（5月5日、日体—早大（5月6日）、早大—日大（5月11日）下段—中大—法大（5月11日）日大—中大（5月12日次頁—日体—筑波、慶大—国士（いずれも5月12日

	日体大	早大	日大	筑大	中大	慶大	法大	国士大	勝敗分
日体大	＼	○	○	○	○	○	○	○	7勝
早大	×	＼	○	○	△	○	○	○	5勝1敗1分
日大	×	×	＼	○	○	○	×	○	4勝3敗
筑大	×	×	×	＼	○	○	○	○	4勝3敗
中大	×	△	×	×	＼	○	○	○	3勝3敗1分
慶大	×	×	×	×	×	＼	○	○	2勝5敗
法大	×	×	○	×	×	×	＼	○	2勝5敗
国士大	×	×	×	×	×	×	×	＼	7敗

得	【日体】		【筑波】	得
0	本田	GK	須波	0
0	井藤	GK	酒井	0
3	工藤	FP	白井	1
2	越前	FP	小山	0
7	辻本	FP	山上	0
0	前田	FP	滝口	1
5	松井	FP	堀越	0
2	坂本	FP	松浦	0
3	長野	FP	河野	0
0	伊藤	FP	矢島	1
0	岩本	FP	西山	6
0	阿部	FP	大塚	0
22	(2)	PT	(2)	9

（審・北島・横山）

得	【慶大】		【国士】	得
0	加藤	GK	新垣	0
0	新谷	GK	飯塚	0
0	保坂	FP	野口	1
5	野本	FP	佐藤文	0
0	草皆	FP	関本	3
9	常川	FP	坂本	0
0	上西	FP	永里	0
0	指崎	FP	藤村	6
1	加古	FP	佐藤昌	1
2	北川	FP	柳川	0
0	林	FP	三本松	1
0	炭本	FP	栗田	4
17	(4)	PT	(1)	16

（審・一宮・横山）

ベスト・セブン

GK 井藤英忠（日体大）
FP 工藤昭彦（同）
同 松井幸嗣（同）
同 筏良裕（早稲田大）
同 吉見昌憲（同）
同 山口剛之（日本大）
同 山利淳（中央大）

得点王

1位 由利淳（中大）55得点
同 宮本昌幸（法大）55得点
3位 吉見昌憲（早大）53得点

◎女子一部リーグ

4月22日
日体大 14—4 日女体大
東女体大 24—7 学芸大

4月29日
東女体大 14—10 日女体大
筑波大 20—7 学芸大

5月5日
筑波大 17—7 学芸大
東女体大 23—3 日女体大

5月6日
日女体大 12—7 学芸大
筑波大 9—8 日体大

5月11日
筑波大 12—9 日体大
日女体大 10—9 学芸大

5月12日
東女体大 13—11 筑波大
日体大 19—8 学芸大

5月16日
日体大 14—8 学芸大
東女体大 14—8 筑波大

5月17日
東女体大 23—7 学芸大
日女体大 9—5 日体大

5月20日
筑波大 17—8 日女体大
東女体大 11—10 日体大

5月23日（最終日）
筑波大 18—11 日女体大
東女体大 15—9 日体大

■5月16日男子スコアー

得	【日体】		【中大】	得
0	本田	GK	岩木	0
0	井藤	GK	鷲巣	0
0	工藤	FP	由利	9
1	越前	FP	高山	0
7	辻本	FP	新谷	0
0	前田	FP	和智	1
5	松井	FP	森	0
2	坂本	FP	植木	4
3	長野	FP	西川	0
0	伊藤	FP	田口	2
0	岩本	FP	鈴木	1
0	阿部	FP	藤井	0
18	(2)	PT	(3)	17

（審・北島・後藤）

得	【日大】		【筑波】	得
0	大畑	GK	須波	0
0	門脇	GK	酒井	0
1	山口剛	FP	白井	5
3	今井	FP	小山	1
2	常尻	FP	山上	0
5	山口哲	FP	滝口	2
3	高梨	FP	佐々木	0
4	仲田	FP	松浦	0
0	水島	FP	河野	3
0	金岡	FP	矢島	0
0	大鐘	FP	西山	5
0	堀越	FP	高須	0
18	(0)	PT	(0)	16

（審・江成・青木）

おねがい

四月は異動期、学生の卒業就職などで機関紙を送っても返送されてくる個人購読で個人宛の方が相当ありました。送付先が変更された場合には必ず日本協会事務局に届出て下さい。

	東女体	筑波大	日体大	日女体	学芸大	勝　　敗
東女体大	＼	○○	○○	○○	○○	8勝
筑　　大	××	＼	○○	○○	○○	6勝2敗
日体大	××	××	＼	○×	○○	3勝5敗＋12
日女体大	××	××	×○	＼	○○	3勝5敗－40
学芸大	××	××	××	××	＼	8敗

ベスト・セブン

GK　横田由美子（東女体大）
FP　磯山久美子（　同　）
同　川波　理子（　同　）
同　藤本　陽子（　同　）
同　森戸由起子（筑波大）
同　坂村　紀子（日体大）
同　高橋　紀子（学芸大）

得点王

1位　磯山久美子（東女）40得点
2位　藤本　陽子（東女）34得点

◎男子二部リーグ

4月22日
明治大 21－7 明星大
東海大 17－12 立教大
順天大 20－13 横浜商科大
学芸大 23－14 防衛大

4月29日
順天大 32－17 明星大
東海大 24－14 防衛大

5月5日
明治大 21－14 横浜商科大
立教大 18－15 学芸大

5月6日
東海大 22－11 明星大
順天大 25－16 防衛大

5月11日
学芸大 14－13 横浜商科大
明星大 25－14 立教大

5月12日
横浜商科大 18－14 明星大
順天大 26－12 学芸大
立教大 23－16 防衛大

5月16日
立教大 15－15 明星大
東海大 15－14 明治大
横浜商科大 20－19 防衛大

5月17日
学芸大 18－16 明星大
順天大 28－13 立教大
東海大 20－12 横浜商科大
明治大 28－12 防衛大

5月20日
東海大 21－17 学芸大
順天大 17－12 明治大

5月23日（最終日）
横浜商科大 18－17 立教大
明治大 23－16 学芸大
明星大 32－23 防衛大
順天大 24－15 東海大

【順位】

1位　順天堂大　7勝
2位　東海大　6勝1敗
3位　明治大　5勝2敗
4位　学芸大　4勝3敗
5位　横浜商大　3勝4敗
6位　立教大　1勝5敗1分 28
7位　明星大　1勝5敗1分 46
（得失点差で立教大が6位）
8位　防衛大　7敗

得点王

岩尾　幸市（順天堂大）56得点

◎女子二部リーグ

4月22日
千葉明徳短大 14－6 東海大
青学大 10－6 学習院
都留文化大 6－5 千葉大
茨城大 18－4 法政大

4月29日
都留文化大 8－7 青学大
茨城大 15－2 東海大
学習院 12－4 法政大
千葉大 17－5 千葉明徳短大

5月2日
千葉大 17－3 法政大
青学大 10－5 千葉明徳短大
都留文化大 8－7 学習院

5月11日
茨城大 16－9 学習院
青学大 4－4 千葉大

5月16日
東法大 11－6 法政大
茨城大 9－2 青学大
都留文化大 19－4 千葉明徳短大

5月18日
東海大 11－7 千葉大
茨城大 18－7 都留文化大

5月20日
都留文化大 12－3 法政大
茨城大 12－4 千葉明徳短大
千葉大 11－7 学習院

青学大 3―1 東海大
学習院 6―1 千葉明徳短大

5月23日（最終日）
都留文化大 19―15 東海大
茨城大 13―6 千葉大

【順位】
1位 茨城大 7勝
2位 都留文化大 6勝1敗
3位 青山学院大 4勝2敗1分
4位 千葉大 4勝2敗1分
5位 学習院大 3勝4敗
6位 千葉明徳短大 2勝5敗
7位 東海大 1勝6敗
8位 法政大 7敗

得点王
富永 文江（茨城大） 47得点

◎男子三部リーグ

4月22日
東京大 10―10 関東学院大
茨城大 13―12 専修大

4月29日
東工大 11―10 青学大
駒沢大 19―18 東京大
茨城大 18―14 芝工大

5月2日
芝工大 15―10 駒沢大
青学大 19―10 専修大
茨城大 18―9 東京大
関東学院大 14―10 東工大

5月13日
芝工大 17―11 東工大
東京大 22―16 専修大
駒沢大 16―16 関東学院大
茨城大 17―14 青学大

5月14日
駒沢大 18―11 青学大
東工大 21―14 東京大
専修大 20―14 芝工大
茨城大 18―14 関学大

5月16日
関東学院大 15―12 青学大
専修大 16―14 東工大
芝工大 17―13 東京大
駒沢大 20―11 茨城大

5月18日
駒沢大 20―15 東工大
青学大 20―9 芝工大
専修大 15―12 関東学院大

5月23日（最終日）
駒沢大 15―14 専修大
東京大 12―8 青学大
関東学院大 21―10 芝工大
茨城大 7―7 東工大

【順位】
1位 駒沢大 5勝1敗1分
2位 茨城大 5勝1敗1分
3位 関東学院大 3勝2敗2分
4位 専修大 3勝4敗
5位 芝工大 3勝4敗
6位 東工大 2勝4敗1分
7位 東京大 2勝4敗1分
8位 青学大 2勝5敗

得点王
高梨 和人（専修大）
朱膳寺義行（学東学院大） 同42点

◎男子四部リーグ

4月22日
東洋大 30―7 千葉大
大東文化大 16―3 千葉工業大
一橋大 17―17 東経大
武工大 16―12 上智大

4月29日
大東文化大 22―8 上智大
東洋大 22―12 千葉工業大
一橋大 18―11 千葉大
武工大 16―8 東経大

5月2日
大東文化大 20―13 千葉大
一橋大 25―8 上智大
東洋大 16―10 東経大

5月14日
千葉大 16―16 上智大
東洋大 12―12 大東文化大
一橋大 24―18 武工大

5月19日
東洋大 21―12 武工大
千葉工業大 27―20 東経大
上智大 20―9 千葉大

5月18日
東洋大 16―8 上智大
千葉工業大 21―16 武工大
東経大 18―14 千葉大
大東文化大 17―9 一橋大

5月21日
千葉工業大 26―18 千葉大
東洋大 21―14 一葉大
武工大 14―13 大東文化大
上智大 13―12 東経大

5月23日（最終日）
千葉大 18―15 武工大
一橋大 21―11 千葉工業大
大東文化大 14―4 東経大

【順位】
1位 東洋大 6勝1分
2位 大東文化大 5勝1敗1分
4位 一橋大 5勝2敗
4位 千葉工業大 3勝3敗1分
5位 武蔵工業大 3勝4敗
6位 上智大 2勝4敗1分
7位 東京経済大 1勝6敗
8位 千葉大 1勝6敗

得点王
古屋 文仁（千葉工業大） 43得点

◎男子五部リーグ

4月22日
横浜市大 15―14 埼玉大
横浜国大 11―10 東京理科大
都留文化大 21―16 千葉商科大
神奈川大 13―12 東京農大

4月26日
横浜市大 16―10 千葉商科大
横浜国大 22―17 神奈川大
東京理科大 15―14 東京農大
埼玉大 16―11 神奈川大
東京理科大 23―6 千葉商科大
横浜市大 19―18 横浜国大
東京農大 15―15 都留文化大

5月2日
神奈川大 22―11 千葉商科大
都留文化大 19―17 横浜国大
東京理科大 15―13 埼玉大

5月10日
横浜市大 13―6 東京理科大
神奈川大 18―17 都留文化大

東京農大 27—13 埼玉大
5月11日
横浜市大 16—16 神奈川大
東京理科大 21—12 都留文化大
横浜国大 17—12 埼玉大
東京農大 33—9 千葉商科大
5月16日
横浜国大 18—16 東京農大
横浜市大 22—18 都留文化大
埼玉大 23—9 千葉商科大
5月18日
神奈川大 10—7 東京理科大
都留文化大 28—18 埼玉大
横浜国大 23—10 千葉商科大
横浜市大 16—7 東京農大

【順位】
1位 横浜市立大 6勝1分
2位 横浜国立大 5勝2敗
3位 神奈川大 4勝2敗1分
4位 東京理科大 4勝3敗
5位 都留文化大 3勝3敗1分
6位 東京農大 2勝4敗1分
7位 埼玉大 2勝5敗
8位 千葉商科大 7敗

得点王
宮沢賢二（都留文化大）55得点

◎男子六部リーグ
4月22日
日工大 20—16 山梨大
拓殖大 18—10 成蹊大
創価大 20—8 和光大
武蔵大 不戦勝 亜細亜大
4月29日
都立大 22—8 和光大
拓殖大 17—9 明学大
独協大 12—12 山梨大
武蔵大 28—7 工芸大
5月2日
都立大 13—9 創価大
拓殖大 18—10 亜細亜大
武蔵大 25—14 成蹊大
日工大 不戦勝 和光大
5月16日
武蔵大 16—11 拓殖大
明学大 25—12 工芸大
都立大 18—10 日工大
創価大 15—15 独協大
成蹊大 23—17 亜細亜大
5月18日
独協大 17—14 和光大
日工大 31—21 創価大
都立大 不戦勝 山梨大
成蹊大 18—15 工芸大
明学大 22—19 亜細亜大
5月21日
成蹊大 17—14 明学大
亜細亜大 27—21 工芸大
独協大 22—18 日工大
山梨大 不戦勝 創価大
5月23日
拓殖大 34—7 工芸大
武蔵大 20—9 明学大
独協大 16—5 都立大
和光大 不戦勝 山梨大
5月28日（順位決定戦）
1位〜2位
武蔵大 17—10 独協大
3位〜4位
拓殖大 17—6 都立大
5位〜6位
成蹊大 28—8 日工大
7位〜8位
明学大 不戦勝 山梨大
9位〜10位
亜細亜大 26—19 創価大
11位〜12位
和光大 不戦勝 工芸大

得点王
村方順一郎（武蔵大）

▼春季関東リーグ入替戦結果
横浜市大（5部1位） 25（12—7、13—2）9 千葉大学（4部8位）
横浜国大（5部2位） 16（8—10、8—5）15 東京経済（4部7位）
青山学院（3部8位） 17（9—7、8—4）11 東洋大学（4部1位）
大東文化（4部2位） 12（6—6、6—5）11 東京大学（3部7位）
明星大学（2部7位） 16（9—6、7—9）15 茨城大学（3部2位）
駒沢大学（3部1位） 17（7—6、10—10）16 防衛大学（8部2位）
順天堂大（2部4位） 19（8—11、11—3）14 国士館大（1部8位）
法政大学（1部7位） 21（10—5、11—9）14 東海大学（2部2位）
（以上の結果　横浜市大、横浜国大、大東文化大、駒沢大、順天堂大が昇格し、青山学院、明星大、法政大が残留）

□5〜6部入替戦
武蔵大学（6部1位） 19（14—6、5—7）13 千葉商大（5部8位）
埼玉大学（5部7位） 16（7—6、9—3）9 独協大学（6部2位）
（結果　武蔵大は5部昇格、独協大は6部残留となった）

ハンドボール夜の集い開催のお知らせ

日　時　7月19日(水)、8月18日(金)いずれも午後5時〜9時まで

場　所　東京代々木青少年スポーツセンター内第一、第二体育館

参加費　当日会費一二百円

主　催　東京都ハンドボール協会（事務連絡責任者・村田稔―㈱村田自動車工場　電話〇三（四〇七）三七三一

内　容　昨年行なわれておりました「土曜の集い」と同様に、ハンドボールファンの方ならば老若男女も問わずどなたでも参加して頂き、ゲームを中心に楽しい夜の一時をハンドボールとともに過しましょう。

詳細をお知りになりたい方は右記連絡先までお問い合わせ下さい。



健康は至上の歓び

滋養強壮・虚弱体質に

●にんにく抽出エキス・ビタミンB₁・肝臓分解エキス・ビタミンB₁₂製剤

キヨーレオピン

●朝鮮人参・麝香・牛黄・ビタミンB₁・にんにく抽出エキス製剤

レオピンファイブ



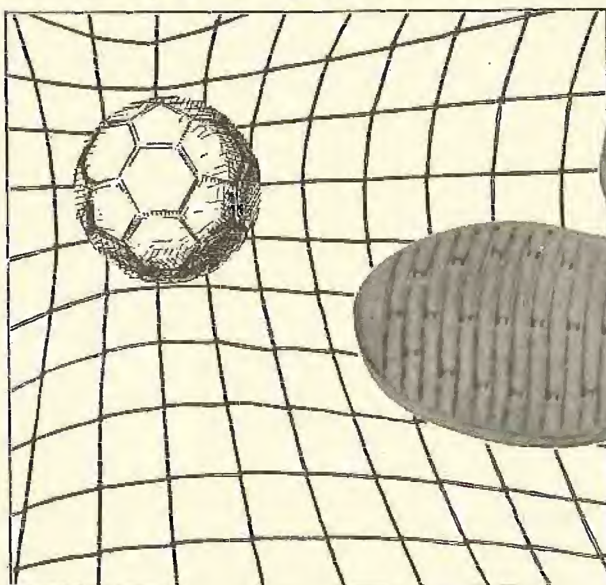
〔効能・効果〕
●滋養強壮●虚弱体質●肉体疲労
病後の体力低下・胃腸障害
栄養障害・発熱性消耗性疾患
妊娠授乳期などの場合の栄養補給

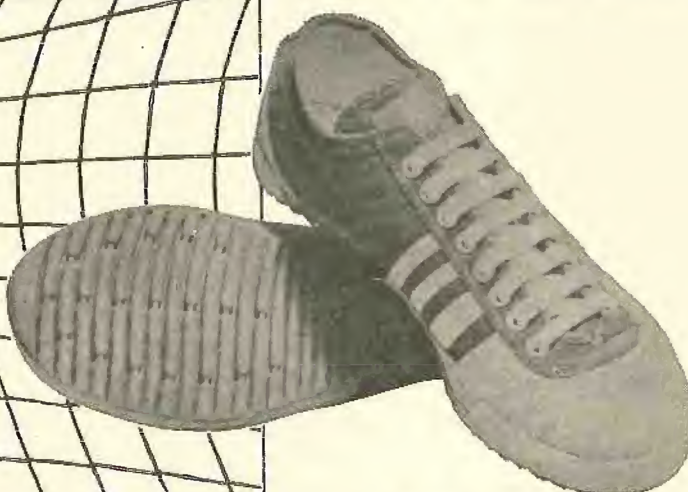


湧永薬品株式会社

本　社　大阪市福島区福島3丁目1番39号
〒553　TEL (06) 458−8901〜6
中央研究所　広島県高田郡甲田町大字下甲立1624
広島工場　〒729-64　TEL (082645) 2331

ファイトを更に、かきたてる信頼感。

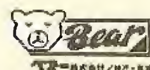




ハンドベアー デラックス　〈HX〉

●サイズ／22.5〜25●カラー／ブルー・ゴールド

●横すべりやロスを解消するための斜線横縞の合理設計底。（意匠登録390270号）
●適度の弾性を得る二重スポンジ・クッションの彫りの深い厚底。
●通気性にすぐれ、快適な足沿いと軽快な履き心地のために、疲れの少ないシューズとして好評をいただいております。



ベアー株式会社／神戸・東京

各地春季高校選手権

飯南(男子)松市女(女子)が優勝

中国大会島根県予選
4月29日、30日(江ノ川高)

▼男子・予選リーグ
◎Aゾーン
松江高 27—4 松江農
浜田水 32—6 松江農
松江工 17—14 浜田水
◎Bゾーン
飯南 27—11 羽須美
松江南 21—14 羽須美
飯南 21—12 松江南
▼同三位決定戦
浜田水 14(7—6 7—7)13 松江南
▼決勝戦
飯南 14(7—1 7—6)7 松江工
▽女子・予選リーグ
◎Aゾーン
浜田商 19—5 松江一
松江南 16—3 松江一
浜田商 8—7 松江南
◎Bゾーン
松市女 24—2 江ノ川
松江農 28—2 江ノ川
松市女 16—2 松江農
▽同三位決定戦
松江南 19(11—0 8—2)2 松江農
▽決勝戦
松市女 9(2—4 7—3)7 浜田南

(以上の結果、男子は飯南、松江工、浜田水、女子は、松市女、浜田商、松江南が中国大会に出場)

岩井(男子)初優勝(女子)は水海道二高が優勝

関東大会茨城県予選
5月13日、14日(結城二高)

▼男子・一回戦
竜ケ崎一 16—14 水海道一
江戸崎西 23—12 水戸一高
土浦工高 16—10 笠間高
土浦一高 18—8 勝田高
太田一高 29—9 波崎高
玉造工高 22—15 鬼怒商高
▼同・二回戦
麻生高 17—7 竜ケ崎一高
土浦工高 18—14 江戸崎西高
土浦一高 18—14 太田一高
岩井高 23—4 玉造工高
▼同・準決勝
土浦工 13—10 麻生高
岩井高 19—14 土浦一高
▼決勝
岩井高 22(11—4 11—7)11 土浦工高
○三位決定戦
麻生高 23(10—5 13—6)11 土浦一高
▽女子・一回戦
太田二高 不戦勝 常北高
土浦三高 16(8—8 延長 5—2)13 水戸二高
竜ケ崎二 8—6 笠間高
結城二高 27—8 岩井高
麻生高 10—4 高萩高
下妻二高 7—5 湖来高
▽同・二回戦
磯原高 7—2 太田二高
竜ケ崎二高 21—5 土浦三高
結城二高 16—8 麻生高
水海道二高 17—7 下妻二高
▽同・準決勝
磯南高 11—3 竜ケ崎二高
水海道二高 13—6 結城二高
▽決勝
水海道二高 7(3—2 4—3)5 磯原高
○三位決定戦
竜ケ崎二高 11(7—5 4—3)8 結城二高

中附(男子)佼成(女子)が優勝

関東大会東京都予選
4月29日～5月7日

▼男子・一回戦
江戸川 15—10 武蔵
広尾 19—10 武蔵丘
三商 16—6 農大一
園芸 16—12 葛飾野
南葛飾 11—2 開成
錦城 12—11 本所
清瀬 不戦勝 昭和工
国立 25—6 秋留台
国分寺 18—5 日大三
葛西南 25—14 富士森
杉並 不戦勝 科学技術
佼成 33—5 保谷
井草 31—5 八王子東
西 21—8 鷺宮
武蔵村山東 不戦勝 調布北
明星 17—9 創価
練馬 17—3 豊多摩
石神井 12—4 北園
東 17—4 福生
三鷹 25—11 光丘
駿台学園 12—11 城北
東村山 不戦勝 志村
青山 12—10 上野
五商 11—5 南
駒大高 25—8 忠生
芝浦工大附 11—7 両国
筑波大付 不戦勝 城西大付
富士 16—9 篠崎
深川 21—5 明星学園
南多摩 13—11 府中東
雪ケ谷 21—14 青梅東
府中 12—7 北多摩
学芸大付 15—7 白鴎
▼二回戦
田無工 13—10 武蔵工大附
明星 37—4 向島商
東 29—4 大崎
国立 16—4 墨田川
駒込 12—7 青山学
駿台学 18—10 城西
西 25—3 秋川
佼成 19—10 三宅
五商 5—4 筑波大駒場
新宿 13—9 青山
片倉 21—5 筑波大付
東大和 15—13 井草
小岩 17—8 練馬
東村山 19—11 石神井
国分寺 10—4 杉並
三鷹 20—13 武蔵村山東
錦城 16—9 園芸
南多摩 16—6 深川
雪ケ谷 22—13 月野
駒大高 15—11 昭和
羽田工 13—8 久留米
芝浦工大附 19—1 江北
府中 15—7 学芸大付
拓大一 15—7 富士
三商 21—9 南葛飾
江戸川 24—6 荻窪
府中西 8—7 広尾
葛西南 22—9 清瀬
▼三回戦
駒大高 14—5 芝浦工大附
府中 17—10 神代
拓大一 15—9 南多摩
羽田工 15—12 雪ケ谷
中大附 30—11 三鷹
国立 13—6 田無工
駿台学 16—8 駒込
東村山 16—11 小岩
東大和 20—9 国分寺
佼成 16—9 西
五商 15—12 葛西南
片倉 17—13 新宿
立川 23—15 三商
府中西 12—11 江戸川
早大学 21—11 錦城
明星 22—8 東

▼四回戦
明星 13―10 早大学
立川 21―12 府中西
拓大一 21―6 羽田工
駒大高 15―10 府中
国立 16―8 五商
東大和 38―12 駿台学
片倉 18―16 東村山
中大附 23―16 佼成

決勝リーグ進出校決定戦
片倉 14―13 立川
拓大一 16―13 駒大高
中大附 25―9 東大和
明星 15―7 国立

▼決勝リーグ
中大附 29（15―2、14―6）8 片倉
拓大一 16（8―7、8―6）13 明星
明星 17（9―6、8―7）13 片倉
中大附 21（12―7、9―7）14 明星
拓大一 12（9―6、3―6）12 片倉
引き分け
中大附 31（17―8、14―4）12 拓大一

（順位）①中大附②拓大一③明星④片倉、三位までが関東大会へ出場。

▽女子・一回戦
富士 8―5 小岩
東村山 8―4 武蔵丘
神代 17―4 日大二
国分寺 不戦勝 福生
清瀬 不戦勝 調布北

保谷 7―4 本所
雪谷 不戦勝 志村
三商 21―0 玉川
農大一 6―5 葛飾商

▽二回戦
南多摩 9―6 杉並
久留米 13―6 国立
向島商 8―2 荻窪
桐朋女 17―1 光丘
府中東 10―9 西
白梅 8―6 日体桜華
江戸川 12―2 昭和
神代 15―3 国分寺
豊多摩 10―5 吉祥女
五商 不戦勝 練馬
学芸大付 11―2 南葛飾
三商 15―4 雪谷
青山学 9―5 南
日野 10―2 墨田川
東村山 8―3 富士
小平 14―8 園芸
農大一 4―3 農業
江東商 6―3 一商
桜水商 16―0 府中西
富士森 不戦勝 立教女
二商 5―3 鷺宮
府中 24―6 目白学園
保谷 11―1 清瀬
東大和 11―6 北多摩

▽三回戦
四谷商 12―3 学芸大付
府中 13―3 二商
桜水商 22―1 富士森
拓大一 17―6 保谷
佼成女 9―2 三商

桐朋女 13―4 南多摩
久留米 23―1 向島商
三宅 19―4 東大和
青山学 15―4 江東商
石神井 6―3 東村山
五商 6―2 白梅
小平 12―1 日野
井草 12―1 府中東
豊多摩 8―3 江戸川
広尾 9―5 農大一
藤村女 14―9 神代

▽四回戦
桜水商 4―1 四谷商
府中 10―5 拓大一
三宅 5―3 桐朋女
石神井 7―2 久留米
佼成女 17―3 青山学
広尾 11―4 小平
井草 9―5 豊多摩
藤村女 14―3 五商

▽決勝リーグ進出校決定戦
桜水商 11―3 府中
三宅 11―1 石神井
佼成女 15―3 広尾
藤村女 22―2 井草

▽決勝リーグ
佼成女 11（4―0、7―1）1 桜水商
藤村女 14（5―3、9―5）8 三宅
佼成女 7（5―2、2―5）7 三宅
引き分け
桜水商 4（4―3、0―0）3 藤村女
三宅 12（7―2、5―1）3 桜水商
佼成女 4（3―2、1―2）4 藤村女
引き分け

（順位）①佼成女②藤村女③三宅④桜水商、三位までが関東大会へ出場。

八幡工（男子）、大津商高（女子）が優勝

滋賀県高校総体

5月12日(金)、13日(土)
県立彦根東高等学校グランド

▼男子・一回戦
安曇川高 18―2 近江高
長商工高 12―9 彦工高

▼同・二回戦
米原高 12―9 彦西高
彦東高 14―4 能登川高
高島高 25―1 長商工高
八工高 16―11 安曇川高

▼同・準決勝
八工高 7（1―2、6―2）4 彦東高
高島高 10（4―4、3―3、1―1、2―1）9 米原高

▼決勝
八工高 18（10―5、8―5）10 高島高

優勝 八幡工業高校（3年連続八回目） 2位 高島高校

▽女子一回戦
愛知高 11（8―8、延長 3―0）9 彦根西高
能登川高 7―1 八商高
安曇川高 5―3 米原高
彦根東高 14―2 長商工高

▽同・二回戦
彦根南高 14―5 愛知高
高島高 13―1 能登川高
宇山女子高 12―5 安曇川高
大津商業高 13―4 彦根東高

▽同・準決勝
大津商業高 9（1―3、8―3）6 宇山女子高
高島高 8（2―2、3―3、2―0、1―3）8 彦根南高
PT勝

▽決勝
大津商業高 8（6―2、2―1）3 高島高校

優勝 大津商業高校（初） 2位 高島高校

（男子）伏見、（女子）京女が優勝

京都高校選手権

（4月15～29日、5日間）
乙訓高校グランド

▼男子・二回戦
東山 11―5 堀川
城南 14―9 大谷
乙訓 12―0 おおき
嵯峨野 21―2 日吉
同志社 15―7 城陽
伏見 28―3 塔南
向陽 14―13 東宇治
桂 20―8 京商

▼同・三回戦
東山 13―6 同志社

乙訓 12―7 向陽
伏見 17―10 城南
嵯峨野 8（6―6、延長 2―1）7 桂
▼同準決勝
伏見 16（4―1、12―4）5 東山
嵯峨野 9（4―3、5―4）7 乙訓
▼決勝
伏見 11（4―3、7―4）7 嵯峨野
▽女子一回戦
西京 12―2 向陽
城南 11―2 田辺
▽同二回戦
西京 5―3 乙訓
桃山 5―4 精華
日吉 15―4 光華
京女 10―2 洛東
鴨沂 18―0 城陽
明徳 19―0 東稜
洛北 8―5 塔南
嵯峨野 7―5 城南
▽同三回戦
西京 14―1 桃山
京女 13―4 日吉
明徳 10―3 鴨沂
洛北 6―5 嵯峨野
▽同準決勝
京女 6（2―1、3―4）4 西京
明徳 8（5―1、3―2）3 洛北
▽決勝
京女 6（4―2、2―3）5 明徳

（男子）富岡、（女子）群女が優勝

第13回群馬県高校総体ハンドボール兼関東高校ハンドボール選手権大会県予選
5月14日、20日、21日（吉井高他）

◎男子予選リーグ
▽Aブロック
富岡 16―6 吉井
前橋商 28―6 桐生工
富岡 48―3 桐生工
吉井 25―6 前橋商
富岡 21―6 前橋商
吉井 27―2 桐生工
（Bブロック）
藤岡 14―7 前橋工
下仁田 16―9 桐生
藤岡 22―4 桐生
下仁田 16―9 前橋工
藤岡 23―9 下仁田
前橋工 13―10 桐生
▽同・三位決定
吉井 28（12―0、16―4）4 下仁田
▽男子決勝
富岡 23（9―1、14―4）5 藤岡
（順位）①富岡②藤岡③吉井④下仁田⑤前橋商・前橋工同率
▽女子予選リーグ
（Aブロック）
前橋東商 11―2 高崎市女
前橋東商 17―2 西邑楽
佐藤学園 19―4 高崎市女
佐藤学園 24―1 西邑楽
高崎市女 15―1 西邑楽
佐藤学園 10―5 前橋東商
（Bブロック）
前橋市女 8―5 前橋商
吉井 17―6 前橋市女
前橋商 15―6 高崎女
吉井 27―3 高崎女
吉井 18―6 前橋商
前橋市女 15―5 高崎女
（Cブロック）
群女短大附 17―6 下仁田
群女短大附 16―4 桐生女
下仁田 7―7 桐生女
▽同決勝リーグ
吉井 20―3 佐藤学園
群女短大附 11―8 吉井
群女短大附 17―6 佐藤学園
▽同順位決定リーグ
前橋市女 10―4 前橋東商
下仁田 9―7 前橋市女
下仁田 13―6 前橋東商
（順位）①群女短大附②吉井③佐藤学園④下仁田⑤前橋市女⑥前橋東商
（男女とも上位3校が関東大会出場）

（男子）長崎工、（女子）島原農が優勝

4／22、23日（長崎工商グランド）

▼男子一回数
佐世保商 24―12 佐世保東商
長崎日大高 26―6 西彼杵
口加高 26―9 波佐見
鹿工 19―14 長崎北
▼同二回戦
佐世保西 29―5 佐世保商
長崎日大高 15―9 佐世保北
けい浦 17―10 口加
長崎工 27―9 鹿工
▼同準決勝
長崎日大 8（3―5、5―2）7 佐世保西
長崎工高 18（9―4、9―7）11 けい浦高
▼三位決定戦
佐世保西 11（5―1、6―3）4 けい浦高
▼決勝
長崎工高 13（6―1、7―8）8 長崎日大
▽女子一回戦
佐世保商 16―5 佐世保北
長崎北高 5―4 佐世保西
島原農高 13―2 西彼杵高
長崎日大 9―4 有馬商高
▽同二回戦（準決勝）
佐世保商 5（2―0、3―4）4 長崎北高
島原農高 7（5―3、2―0）3 長崎日大
▽同三位決定戦
長崎日大 5（3―3、延長 2―1）4 長崎北高
▽決勝
島原農高 11（6―4、5―3）7 佐世保商

◎石川県高校春季大会

4／23、30、5／5（金沢泉丘高グランド、金沢美大体育館）

▼男子予選リーグ
金市工 13―11 大聖寺
寺井 26―7 金市工
寺井 19―10 県工
県工 7―5 大聖寺
泉丘 21―1 金商
松陵工 22―7 金商
松陵工 15―7 松任
泉丘 16―3 松任
小松 16―7 星稜
星稜 26―3 二水
津幡 17―6 二水
小松 21―6 津幡
小松工 18―6 小松商
小松商 17―10 北大谷
錦丘 12―8 北大谷
小松工 18―8 錦丘
（以上の結果 寺井、県工、泉丘、松陵工、小松、星稜、小松工、小松商の8チームが決勝トーナメントに出場）
▽女子予選リーグ
北大谷 10―6 津幡
小松堀 11―5 金商
小松商 10―9 北大谷
金商 5―2 津幡
大聖寺 9―5 松任
大聖寺 8―5 星稜
星稜 6―1 松任
（以上の結果 小松商、北陸大谷大聖寺、星稜の4チームが決勝トーナメントに出場）
◎男子決勝トーナメント
▼準々決勝
寺井 14―6 星稜

泉丘 9—3 小松商
小松 18—7 松陵工
小松工 23—3 県工

▼同準決勝
寺井 12（5—5、7—1）6 泉丘
小松工高 10（8—1、2—5）6 小松高

▼決勝
小松工高 16（6—8、10—2）10 寺井高

◎女子決勝トーナメント

▽準決勝
小松商高 22（9—2、13—2）4 星稜高
北陸大谷 7（5—4、2—2）6 大聖寺高

▽同三位決定戦
大聖寺高 13（5—1、8—1）2 星稜高

▽決勝
小松商高 9（4—4、5—3）7 北陸大谷

【結果】男子・小松工は二年連続4度目、女子、小松商は初優勝

青森商（男子）、青森西（女子）が優勝

青森県春季大会
5月13日、14日（野辺地高校）

▼男子・一回戦
七戸 13—6 弘南
柏農 10—8 野辺地
十和田 12—10 青森東
五所 17—10 野辺地工高
青森商 18—13 鰺ケ沢

▼同・二回戦
青森 14—5 七戸
柏農 10—6 十和田
青森南 26—9 五所
三本木 21—13 青森商

▼準決勝
青森高 9（5—1、4—2）3 柏農業高
青森南高 10（4—4、6—2）6 三本木高

▼決勝
青森高 9（4—4、5—2）6 青森南高

▽女子・準決勝
青森西高 17（9—1、8—0）1 三本木高
野辺地高 5（2—1、3—2）3 七戸高

▽決勝
青森西高 13（7—1、6—2）3 野辺地高

（男子）氷見、（女子）有磯が優勝

富山県春季大会
4月29、30日 5月3日
（富山高校、県営グランド）

▼男子・一回戦
八尾 22—3 雄山
富山商 13—9 新湊
富山 15—3 高南
富山中 15—6 大沢野

▼同・二回戦
氷見 19—5 八尾
二上工 11—7 高岡
富山東 18—14 富山工
日大高岡高 13—6 富山商
富工専 10—3 富山
小杉 12—1 滑川
富山南 13—4 伏木
高岡商 17—7 富山中

▼同・三回戦
氷見 15—9 二上工
日大高岡高 21—8 富山東
小杉 13—6 富工専
高岡商 28—4 富山南

▼準決勝
氷見 15（6—3、9—6）9 日大高岡
高岡商 11（5—5、6—1）6 小杉

▼決勝
氷見 14（10—5、4—2）7 高岡商

▽女子・一回戦
日大高岡高 7—3 富山女
高岡商 14—2 富山東

▽同・二回戦
有磯 9—6 日大高岡高
高岡女 17—1 清光女
富女短大付 9—5 富山北
小杉 8—5 高岡商

▽準決勝
有磯 12（6—3、6—2）5 高岡女
小杉 13（5—0、8—0）0 富女短大付

▽決勝
有磯 5（3—1、2—1）2 小杉

岩国工（男子）、徳山（女子）に栄冠

中国高校選手権大会
5月14日、15日（倉吉東高、倉吉中央体育館）

▼男子・一回戦
岩国工 26—5 総社高
宮原高 10—9 境港工
倉吉工 18—14 飯南高
修道高 11—7 天城高
下松工 27—10 松江工
山陽高 14—13 倉吉東
浜田水産高 12—11 米子東
下松高 17—8 北島工

▼同・二回戦
岩国工 27—4 宮原高
修道高 18—10 倉吉工
下松工 29—6 山陽高
下松高 25—6 浜田水産高

▼準決勝
岩国工高 11（7—6、4—5）11 修道高
（第一延長で両校無得点のためPTコンテストにより2—1で岩工が決勝へ進出）
下松工高 17（9—5、8—4）9 下松高

▼決勝
岩国工高 15（9—8、6—5）13 下松工高

▽女子二回戦
山陽女 17—5 落合
田部 12—7 倉敷商
岩国商 21—2 広島一女商
徳山 19—6 倉敷天城高

▽準決勝
山陽女子 5（1—1、4—3）4 田部高
徳山 7（2—3、5—2）5 岩国商高

▽決勝
徳山 5（3—0、延長、2—2）2 山陽女子

プレス・ルーム ＜10＞

小山　敏昭
——共同通信社運動部——

アジア地域でのハンドボール普及はいかに？

　ことし十二月にタイのバンコクで第八回アジア大会大開催される実施競技は今回から新たに加わったボウリングを含め19競技だが、残念なことにこの競技種目にハンドボールがない。

　現在アジアのハンドボール界といえば男子は日本、韓国を中心とする極東地域と、最近力を入れはじめたサウジアラビア、クウェートなどの中近東地域で、東南アジアは〃未開〃の地域となっている。また女子などは日本、韓国、台湾だけで、あとはすべて〃未開地域〃になっている。

　かつてこのページをお借りしてソ連のU・クリフトソフ会長の話を紹介したと思うが、そのときに会長は『現在国際ハンドボール連盟（IHF）には七十カ国が加盟して、中南米、アフリカなど十五カ国以上が加盟申請している』と話していた。国際競技連盟(IF)の中で七十という加盟国数は例えば国際陸連の百五十三カ国、国際サッカー連盟の百四十カ国と比較して、決っして多い数字ではない。しかしその中でもやはりアジアからの加盟国が8カ国と少いのがなんとも寂しい限りだ。もっともアジア連盟加盟（申請を含む）は14カ国ある。それでもまだまだ少ない。

　日本はまだまだ世界の強豪、一流国からは立ち遅れている。少しでも早く世界のトップレベルに追いつくことが大切だが、忘れてならないのが、やはりアジアに於けるハンドボールの普及であろう。

　確かにオリンピック、世界選手権が世界最高の技能を競う場であって、日本はアジアに敵なしの存在であることはわかるが、もう少しアジアを考える〃ゆとり〃を持って欲しいものだ。

　バレーボールの発祥国は米国だが、いまや日本、ソ連、東ドイツなど〃輸入国〃の方が強くなったスポーツもある。いずれはハンドボールもそういう時代が来ると思うが、やはりその前にアジア地域でのハンドボール競技そのものの普及という問題が解決されん事を我々報道関係者としても望んで止まない。

新生全日本に木野新コーチ就任!!

　協会の法人化が進んだり、日本初のチェコスロバキアのチームが来日したりでいいニュースが続くなかで、今度前日本ナショナルチームの主将で、湧永薬品の木野実選手がナショナルチームのコーチに就任するといううれしい話を聞いた。

　ハンドボールに多少なりとも関心のある人なら誰でも『木野』の名前を聞いたことがあるはずだ。立大時代からナショナルプレーヤーとして活躍、湧永へ入社後もテクニック、パワー、スピードを兼ね備えたオールラウンドプレーヤーとして常に日本のエースだった。三十歳を過ぎたここ二、三年も体力こそやや落ちたものの、日本リーグ、全日本総合などでの彼の健闘ぶりは目を見張るものがあった。たぶん日本ハンドボール界の中でも木野選手ほど輝かしい戦歴と実績を持った選手はいないのではないかと思う。

　そしてまた私が特に強調したい『木野選手のすばらしさ』に彼の人間性のよさがある。もともと竹野監督(現ナショナルチーム監督)にしろ近森選手（現三陽商会）にしろハンドボールの選手たちは謙虚で、決っしておごったところがなかった。チビッ子のサインをねだられても気持ちよくサインし、他の有名スポーツ選手とはまったく違った親しみやすさを持っていた。だが、木野選手の場合はそれに輪をかけたような『やさしさと思いやり』を持った選手なのである。そのエピソードはぶくとして、そんな精神的にも人格的にもすぐれた選手が、ナショナルチームコーチになることにまさに大賛成なのである。

　もっとも二年前に〃新生全日本〃が発表され、木野選手がはずされた（同時にGKの本田選手、FPの藤中選手もはずされた）ときはその理由がわからず、協会の強化委員会に対する先見性のなさを疑ったものだ。またそんな疑問を持ったまま、彼が一生懸命湧永の選手として活躍する姿に戸惑いすら感じていた。

　それが今回『やっと』ナショナルチームのコーチに復帰することになり、本当のことをいうとうれしいというより、むしろ当り前といった気が強くしたのだ。

　ファンにとっても待望のことであったろうし、誰もが秘かに待ち望んでいたことではなかろうか。これでやっと本当の〃新生全日本〃の第一歩が踏み出されたような思いがするのは私だけだろうか。

　とにかく、木野選手のコーチ就任はすばらしいことだし、彼の持っている技術、精神を是非いまの若い選手たちに生かしてもらいたいものである。

　そして、何んと言っても、これまでの竹野、東、本田のコーチングスタッフに木野氏が加わった事で四氏ががっぷりヨツに組んで、新生全日本が更に一歩進んだチームに育て上げられることも、これから先充分に期待出来得るものとなるに違いない。

　そして「若手全日本選手の奮起」を大いに期待す。

フリースロー

〈編集委員会論壇〉

ハンドボール精神を目指して

ハンドボールでは、相手をつかんだり突いてはいけないことは、選手なら誰でも知っているところが学生リーグを観戦するに随分ひどい反則が目につく。

ボールを持ってカットインしようとする相手を両手で突いたり、エリア近くのポストマンをボールキャッチの瞬間両腕でつかむことが堂々と行なわれているそれも有名な大学ですら平気でやっているのには驚く。この二つの反則に対し、審判は審判で「注意」さえ与えないのはどうしたことか。

こうした意識的な反則が、グランドでまかり通っているようでは、観衆を魅了するようなプレーは期待できない。また、クリーンなハンドボール精神は、決して生れてこないと思われる。

何れにしても審判員やプレイヤーがこんなゲームを平気で続けていたり、指導者がこれを何等気にせず放置している限り、日進月歩の世界のハンドボール界に遅れをとるであろうし、やがて日本のハンドボール関係者自身が国民大衆から見離されてしまうことを恐れる。現にさきの文部省の学校指導要領改訂の際、従来中学校の必須種目であったハンドボールが、一時完全に外されていたときく。その理由が第一に普及面でバスケットボールに比べて見おとりがすること。第二に現在行っているハンドボールは、学校の教材として適当でないのではないかと話題になったという。この際お互に襟を正して虚心担懐に深く反省しなくてはならないと思う。

「正しい守備はどうあるべきか」が、ハンドボール関係者が緊急に解決せねばならぬ当面の課題であると警鐘したい。ただハンドボールと共に四十年歩んできた自分としてもそれなりの責任の一端を果さねばならない。今一度初心にかえって研究しなくてはと考えている。

指導者も審判員も又プレイヤーも誇り高い理想のハンドボールを目指して、日夜研究し、指導と練習に精進してもらいたいと心から願っている。

全日本教職員連盟福会長　的場益雄

喜ばしい記念誌
機関誌の発刊

最近、とくに目立つ動きとして各地方協会や有力チームが、独自の記念誌や機関誌を出していることとがあげられる。

ハンドボールは、陸上競技や水泳のように、いわゆる〈記録〉を競うスポーツではないだけに、こうしたものの収集、整理に関してかなり遅手（おくて）である。

しかし、先輩の業績を偲んだり自分たちの活動を残しておくことは、けして無意味ではない。むしろ、チームや個人にとって、レベルアップにつながるケースが多いのだ。この認識が高まっての傾向と思うが、大いに歓迎される。

本誌上からも、再三お願いしているが、日本にハンドボールが伝えられた初期のころ、大正末期から昭和十年あたりまでの〈空白〉が、なかなか埋まらないでいるのは、過去、こうした面での関心があまりにも日本協会筋で低かったからだ。

地方協会などの記念誌、機関誌は、もちろん、そうした大がかりなものではなく、あくまで「自分たちの記録」に徹しているが、第三者にも充分興味をおこさす内容である。

なかでも感心したのは、愛知協会の編んだ「記録史」、熊本協会の「勝利の記録」、高知クラブの「チーム史」だ。

愛知は、県内にとどまらず、霧散しがちなブロック大会なども丹念に集めている。

熊本は、地元紙の関係記事をコピーにして集めるという意表をついた企画だが、資料としての価値もさることながら、同協会のマスコミ対策の巧さを知らされる。

高知クのそれは、担当者の几帳面さがにじみでた労作で、国内の有力チームが、仮に、これに習って同じようなものを次々に作りあげたら、さぞかし楽しいライブラリーが出来るだろう

個人記録の集計もバッチリだし、女性マネジャーの年令を「？」と洒落れるなど、このクラブの和やかなムードがうかがえる。

こうした活動・事業は、チームにしろ組織にしろ、なかなか手を出しにくい。

だが、けして後まわしにしてはいけない。おろそかにしてはいけないことだ。

自分たちの歴史と記録を書きとどめる努力は、ハンドボールへの愛着度にイコールだと思うからである。

〈杉山茂〉

世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御芳名・順不同）

福井県ハンドボール協会
会長　伊　藤　仁　和

ブリヂストン・タイヤ
那須工場・栃木工場

奈良県ハンドボール協会長
堀　内　俊　夫
〒632　天理市嘉幡町
TEL　07436—4—0132

住み良いくらし　住みよい環境
（株）都　商　事　不動産部
（代）小野瀬都男
〒329-06 栃木県河内郡上三川町大字上郷1893
TEL　028556—5525（代）

かっこよくスポーツをしよう!!
チームのオリジナルユニホームを作ってみませんか
駿河スポーツ
（三景・本田技研鈴鹿・日本ビクター・中央大学納入店）
清水市　駅前銀座店 0543—64—4418
　　　　堂　林　店 0543—52—1397

屋内外電気工事設計施工
火災報知機設備施工
伊藤電機設備株式会社
代表取締役　伊藤仁和
福井市順化2丁目2番1号 〒910
TEL　営業部(0776)22-7800(代) 工事部21-2266(代)

静岡市ハンドボール協会長
松　永　秀　一
〒420 静岡市末広町1の3
TEL　0542—71—6240

加賀友禅
（有）宮　口　染　工　場
金沢市油車町46　（店）31—2607
　　　　　　　　（工場）62—7820

ハンドボールのことなら！
アクメスポーツへ
有限会社アクメ三和・代表取締役　中倉健治
浦和市岸町4-20-11・TEL0488(22)1388・9295

金沢一流の名物，名産が一堂に揃う
金沢ステーションデパート
金沢駅地下・取締役社長　油谷外郷

東レナイロンカーペット　製造元
東洋カーペット株式会社
本社・工場　金沢市南森本町768
TEL(0762)58—0888(代)

各種精密プレス加工，金型，省力機器，設計製作
清国産業株式会社
代表取締役　清　水　国　善
本社・工場　栃木県足利市小俣町西大門2690—1
TEL0284 (62) 0513 (大代)

各地社会人大会（4月～5月）

▽第五回青森県社会人春季大会
4／29、30（野辺地町立体育館）

○一回戦
海自第二空群 19（12―5、7―6）11 野辺地クラブ
大湊地方隊 27（19―9、8―8）17 青商クラブ
青森クラブ 26（12―4、14―2）6 弘前大学

○準決務
七戸ユニオン 23（13―11、10―7）18 海自第二空群
青森クラブ 23（11―5、12―8）13 大湊地方隊

○三位決定戦
大湊地方隊 20（6―9、14―7）16 海自第二空群

○決勝
青森クラブ 16（7―8、9―6）14 七戸ユニオン

○五～七位決定リーグ
弘前大学 19（12―5、7―2）7 青商クラブ
弘前大学 17（9―7、8―9）16 野辺地クラブ
野辺地クラブ 18（8―3、10―3）6 青商クラブ

〔準位〕①青森ク②七戸ユ③大湊④海自第二⑤弘前大⑥野辺地ク⑦青商ク（青森クは二年振り三度目の優勝）

▽千葉県実業団春季リーグ
（4／2～5／5三井石油化学千葉工場体育館）

◎一部リーグ
海自下総 19（11―4、8―6）10 日産石油化学
日産石油化学 18（6―10、12―4）14 出光石油千葉
丸善石油千葉 16（11―3、5―9）12 三井石油化学千葉
三井石油化学千葉 21（9―10、12―8）18 出光石油千葉
出光石油千葉 不戦勝 陸自下志津
丸善石油千葉 不戦勝 陸自下志津
丸善石油千葉 不戦勝 海自下総
日産石油化学 不戦勝 陸自下志津
丸善石油千葉 不戦勝 出光石油千葉
三井石油化学千葉 不戦勝 海自下総
日産石油化学 12（8―10、11―5）15 三井石油化学千葉
海自下総 不戦勝 陸自下志津
丸善石油千葉 14（7―8、7―3）11 日産石油化学
三井石油化学千葉 不戦勝 陸自下志津
海自下総 27（11―9、16―3）12 出光石油千葉

〔総合順位〕①丸善石油千葉②三井石油化工③海自下総

◎二部リーグ
海自木補所 23（14―3、9―7）10 陸自第一ヘリ団
海自館山 20（9―3、11―2）5 東洋サッシ
陸自第一ヘリ団 17（8―3、9―10）13 ヤトロン
海自木補所 28（16―4、12―1）5 東洋サッシ
東電千葉 19（11―8、8―5）15 ヤトロン
陸自第一ヘリ団 不戦勝 東洋サッシ
海自木補所 不戦勝 ヤトロン
海自館山 不戦勝 東電千葉
東洋サッシ 不戦勝 東電千葉
海自館山 不戦勝 ヤトロン
陸自第一ヘリ団 20（9―10、11―8）18 東電千葉
海自木補所 15（10―5、5―4）9 海自館山
ヤトロン 14（8―6、6―4）10 東洋サッシ
海自館山 16（6―6、10―5）11 陸自第一ヘリ団
海自木補所 不戦勝 東電千葉

〔総合順位〕①海自木更津②海自館山③陸自第一ヘリ団

◎一、二部入れ替え戦
出光石油千葉 16（7―9、9―6）15 海自木補所
海自木補所 不戦勝 陸自下志津
出光石油千葉 不戦勝 海自館山
陸自下志津 不戦勝 海自館山

（総合結果）
出光石油千葉 2時一部リーグ残留
海自木補所 1勝1敗一部リーグ入り
陸自下志津 1敗二部リーグ入り
海自館山 1敗二部リーグ残留

七戸ユニオン（男子）全和洋（女子）が制す
第一回東北クラブ選手権大会

5月20日、21日（宮城スポーツセンター）

▼男子・一回戦
仙台大OB 13―11 白亜ク
花巻ク 13―12 大農ク
青森ク 26―7 宮城ク
東学大OB 30―16 山形ク

▼同・二回戦
仙台育英ク 29―10 全郡山
七戸ユニオン 17―14 仙台大OB
青森ク 24―14 花巻ク
学院大OB 32―17 学石ク

▼準決勝
七戸ユニオン 22（10―6、12―10）16 仙台育英クラブ
東北学院大OB 20（5―2、延長、15―15）17 青森クラブ

▽女子準決勝
全和洋 14（8―4、6―2）6 三英実会
あすなろクラブ 7（5―4、2―2）6 二華会

▼男子決勝
七戸ユニオン 21（12―5、9―6）11 東京学院大OB

▽女子決勝
全和洋 9（6―3、3―3）6 あすなろクラブ

◎石川県一般春季大会

5月7、14日（金沢美大体育館）

▼一回戦
津幡ク 20―5 美大
金工大 13―10 県工ク
星陵ク 14―10 金大
小松製作所 25―8 医科大

▼二回戦
あすなろク 29―7 津幡ク
金工大 27―12 七尾ク
星陵ク 25―14 県工パパズ
金沢市役所 23―8 小松製作所

▼準決勝
あすなろクラブ 24（11―15、13―5）20 金沢工大
金沢市役所 25（15―6、10―7）13 星陵クラブ

▼決勝
金沢市役所 19（10―7、9―10）17 あすなろクラブ

ジャスコA二年振り二度目の優勝
中日杯争奪第14回東海女子実業団選手権大会

ジャスコA 18（10―7、8―7）14 ジャスコB
ジャスコA 11（6―6、5―1）7 ブラザー工業
ブラザー工業 20（14―5、6―9）14 ジャスコB

【結果】①ジャスコA二勝、ブラザー一勝一敗、ジャスコB二敗

◎第四回東海実業団選手権大会

▼男子・一回戦
北陸電福井 16―13 豊田合成
三洋電機 不戦勝 三菱油化
トヨタ自工 23―12 日本酎醸場
日本碍子 21―8 帝人製機

▼準決勝
北陸電力福井 27（13―5、14―4）9 三洋電機

日本碍子 17（10—4、7—7）11 トヨタ自工

▼三位決定戦

トヨタ自工 25（14—10、11—6）16 三洋電機

▼決勝

北陸電力福井 21（9—6、12—7）13 日本碍子

（北陸電力は二年連続優勝）

湧永薬品（女子）徳山が快勝
中国一般選手権大会

5月20、21日（広島県立体育館）

▼男子・一回戦

下関ク 29—8 児島ク
湧永 37—12 下関ク
朝酌ク 22—18 関金ク
三井石油 26—22 海自呉
倉商OB 19—16 倉吉ク
修道ク 24—15 倉敷工OB
山口教員団 41—16 島根町体協
菊翔会B 34—19 岡山ク
武田薬品光 32—19 境港市

▼同・二回戦

湧永 50—11 朝酌ク
三井石 36—23 倉商OB
山口教員団 22—14 修道ク
菊翔会B 31—21 武田薬品光

▼準決勝

湧永薬品 35（17—8、18—6）14 三井石油
山口教員 30（18—17、12—10）27 菊翔会B

▼決勝

湧永薬品 43（26—6、17—6）12 山口教員

▽女子・準決勝

徳山ク 33（16—1、17—0）1 HFGB
HFGA 33（18—3、15—4）7 松江ク

▼決勝

徳山クラブ 13（5—5、8—3）8 HFGA

【編集後記】

◎日本リーグ前期の開幕、◎各連盟の大会、高校は夏のインターハイ予選といよいよ活気づいて来て本格的なハンドボールシーズンの到来となり選手の皆さんにとっても、また観る側の人達にとりましても非常に楽しみの多い時期になりました。

そこで当然の事ながら試合の数が増えて来ますが、選手の皆さんには是非ともけがのなきよう充二分に注意をして頂きたいと思います。

お詫び

今号6月号の発行の遅れにつきまして、この場をお借りしまして購読されている方々に多大なるご迷惑をお掛けしました事本当に申し訳けなくお詫びを申し上げます。

理由につきましては個々のものがあり、ここで皆様に申し上げる程のことがありませんのでその点深く反省している次第でございます。また7月号の発行につきましても、6月号の不手際から発行はどうしても中旬近くになってしまいます事、重ねてこの場にてお断わり申し上げさせて頂きます。8月号からは編集も軌道に乗り今まで通りの発行を予定しておりますので、誠に勝手ながらその点ご了承頂きたいと思います。

皆様と共に歩んで参ります機関誌ハンドボール、われわれ編集スタッフ一同購読する人の立場に立って、よりよいものをと考え努力しております。これから先も、皆様方の御協力を頂き充実した内容味のある機関誌を作って行きたいと思いますのでどうぞ宜しくお願いを致します。

○フリースロー投稿について

本来編集委員会論談として昨年秋からスタートして参りましたが、これから先は編集委員の主感にとらわれず、ハンドボールを愛好される方々（する人、見る人）にも、ハンドボールに対するご意見、希望、感想、構想等を出して頂きたく、よろしくお願いを申し上げます。

（編集委員長 小松原）

興奮再現。

持ち運んで楽しむか

BIG SOUNDS
実用最大出力4.2W
TRK-8030 ¥43,800

クリアでナチュラルな音質の実用最大出力4.2W(2.1W+2.1W、EIAJ/DC)のパワー。12cmウーハー(中低音域用)と3.5cmツイーター(高音域用)採用のスピーカー・システムが再現するリアルなパワーサウンド、心ゆくまでお楽しみください。

- ●FM/AM2バンドラジオつき
- ●(クロム/ノーマル)テープセレクター採用
- ●フルオートストップ
- ●外部スピーカー端子つき(別売り APS-80)使用
- ●ラインイン、ラインアウト端子、マイク端子(R用、L用各1個)つき



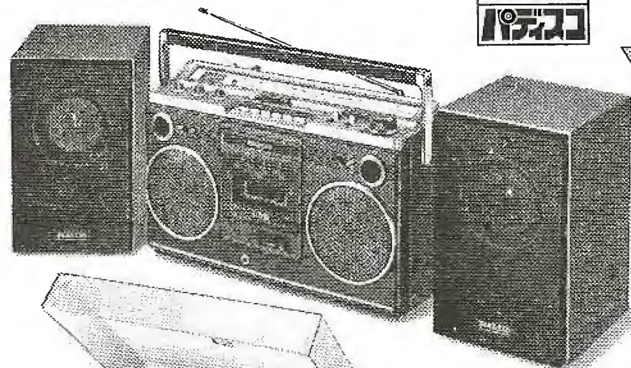
ステレオ パディスコ8030 TRK-8030 ¥43,800

●電源DC:9V(単1×6) AC:100V 50/60Hz カーアダプター(別売りD-70) ●大きさ 幅41.2×高さ25.6×奥行12(cm) ●重さ 5.0kg(乾電池含む)

システム パディスコ

組んで楽しむか

パディスコ8030はシステムアップできるラジオカセット。専用外部スピーカー(APS-80)の接続により、迫力あるステレオ・サウンドがさらに倍増。また、プレヤー(HT-320)を接続すればレコード音楽も楽しめます。(MM形カートリッジイコライザー MCE-70が必要)



- ●専用外部スピーカー、APS-80 別売り 2本セット¥11,800
- ●レコードプレヤーHT-320 別売り ¥25,800(レコードプレヤーを接続するにはMM形カートリッジイコライザー〈MCE-70〉別売り ¥4,500が必要です)

▲上の写真はステレオパディスコ8030をシステムアップしたものの一例です。

★カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
★商品のお問合せ、クレジットのご相談、カタログのご請求は、お近くの日立の家電品取扱店へお気軽にどうぞ。

品質を大切にする〈技術の日立〉

HITACHI CASSETTE RECORDER

HITACHI

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館)TEL(03)502-2111
日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館)TEL(03)503-2111

★「日立カセットレコーダーの保証書」は必ずお受けとりください。お買い上げの際に、販売店名、ご購入年月日が記入されているかを、お確かめになり、大切に保存してください。

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一六四号
昭和四十年六月七日第三種郵便物認可
昭和五三年五月二十五日印刷
昭和五三年六月一日発行
発行所
日本ハンドボール協会
東京都[illegible]神南一ー一ー一
電話 代表（467）七〇九七
振替 東京 五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価 三百五十円
（年間購読料三千三百円）